（明治四十四年八月一日第三種郵便物認可）
（大正七年六月一日印刷發行）
（毎月一回一日發行）

男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

4—663

廓清

第八卷第六號

□廓清時言……伊藤江南
□如何に平和を迎ふ乎……前衆議院議長　島田三郎
□女子保護同盟……廓清會理事　油谷治郎七
□出兵問題奈何……早大教授　内ケ崎作三郎
□大學改革案を評す……新佛教幹事　高島米峰
□個人主義即國家主義……成女學校校長　宮田脩
□女大學新評論……一條忠衛
□相撲と人生（四）……三輪田女學校長　三輪田元道
□婦人の潜勢力……前代議士　増田義一
□家庭の和樂……東洋大學教授　高島平三郎
□學生なき大阪風俗……早大理事　宮田脩
□われ等の財産……常盤松女學校長　三角錫子
□繪ハガキの女……文學士　菅原教造
□編輯餘錄……TK生

東京廓清會本部發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

この歯の美しさを
見られよ！
ライオン歯磨を
朝夕
愛用する方の歯は
皆斯の如く美し。

東京市本所區外手町
ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎
支店 大阪東區淡路町二丁目
名古屋市中區名町四丁目
上海・天津・漢口・奉天

君が腦神經病は治る者と信ぜよ

而して……腦、神經病特効薬

健腦丸を用ゐよ!!!

健腦丸の効果は世既に定評あり。

主効

□腦充血 □耳鳴
□腦膜炎 □頭痛
□神經痛 □眩暈
□逆上症 □健忘
□卒中 □便秘
□中風 □癲癇

四回分	金二拾錢
半週分	金四十錢
一週分	金七十錢
二週分	金一圓卅錢
三週分	金一圓八拾錢
五週分	金二圓八十錢
拾週分	金五圓

特長

▲健腦丸を少量宛常用せば、逆上を引下げ、便通をよくし、恐る可き腦充血を快治し、中風卒中を未發に防ぎ、記臆力の増進を促す特効あり。

大阪 東京

本舗 丹平商會藥房

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

廓清

THE PURITY

第八巻第六號

大正七年六月

廓清時言

婦人問題としての足

近時婦人歩行の姿漸く男性化し、優美なる八文字形の歩み振りを捨て外輪といふ程にてはなくとも、眞直に歩む者増加したる著しき傾向を嗟嘆する聲を聞く。男子は果して女子に彼の八文字歩みを優美として欲求すべきものなりや。女子は其要求に耳をかす可きものなりや。吾人は玆にも重大なる婦人問題の存在を見る也。

嫋々たる細腰を美とし、吹く風にも心置かるゝ底の蓮歩を愛するが如きは、既に現代人の感覺にあらず、今日の青年男女は、互に其の發達せる肉體を美とする處に變化し來りたるが故に、今日にありて、八文字歩みを欲求する者は、其感覺既に時代に遲れたるものなれども、其思想も亦婦人をして男子の婦人たらしめんとし、人間としての婦人たる人格の徹底的自覺を缺くものと斷せざる可からず。蓋し婦人問題としての女子の足つきは、男子が以て纖弱美を愛好すると否とに毫も關する事なく、婦人自身の自由なる要求に基き、動作の生理的必然性に任すべきものたる也。之に對して男子が異議を挾み、何等かの要求を試むる如きは、女子の人格を尊重せざるより生ずる思想にして、自己滿足に沒頭して他人の人格を犧牲として顧みざりし過去の囚はれたる異性觀を有する者のなす處のみ。

況んや八文字歩みの廢れ行くは、家庭に幽閉せしめられたる女子の、社會に解放せられたる自然の結果にして、生活難の荒波は、更に此傾向を激成せしむべく、又人力の如何ともすべきに非ざる也。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

福岡の藝妓花の日

福岡市に於ては去月二十七二十八兩日を以て開催の箱崎海戰記念會なるものに對し、同市藝妓は花の日會なるものを催し、盛裝したる多數の藝妓は市内の要所々々に立ちて、通行人に花を賣り附け、其收益を以て艦隊慰問に用ひんとの計劃傳はるや同地教育界は、風教上の大問題なりとして蹶然として起ち新聞紙亦之に應ずるに及び、反對の聲は各方面に熾んに起り、遂に縣當局の中止勸告となりて、立消えに至らしめたる旨報道あり、近來會心の事といふ可し。

藝妓を公會の席に列せしむ可からざるは、御大典奉祝に際して吾人の屢々痛論したる處、今之を繰返すの煩に堪えざれども要するに如何に表面を粉飾するとも、藝妓は賣笑を其本質とするものなるが故に、彼等の跋扈は取りも直さず下水の噴水にして、吾人は醜業公認の娼妓制度と共に此の華々しき藝妓てふ賣淫をも社會の表面より速に掃蕩せざる可からずとなす。

頃日九段の相撲場に於て、力士に聲援したる藝妓が警官の爲に場外に拉し去られたる事あり、聲援は多數の男子の熱狂してなす處なるに、藝妓なるが故に此事ありたるは、一些事に似て、亦藝妓に對する社會心理の一表現として吾人の密に快としたる處、今や亦遊藝の本場博多の地に此快報あり、理想の彼岸尚遙かなりと雖、亦着々向上の步武あり。何者の痴漢か、吾人の運動を以て沙上に樓閣を築くとなすぞ。

報德會の風教無視

去月二十六日の東京毎日新聞は左の如き評論を社說に揭げたり。吾人の曰はんとする處を盡して餘蘊なし、即ち、

『實業界の巨頭たる早川千吉郎氏が中央報德會理事長の資格を以て、折から地方官會議の爲め上京中の各府縣知事を麴町の自邸に招待し、一夕の盛宴に數千金を散ずるの豪華を示した。吾人は實業家として早川氏が此豪華を示すとを怪しとせぬが、苟も此招宴か報德會理事長の資格を以て催されたとある以上、報德會其者の趣意に對し默過する譯に行かぬ。

報德會と云へば、云ふ迄もなく二宮尊德翁の遺德を渇仰して勤儉力行の美風を國民の間に宣傳することを標榜する一種の團體である、其理事長たる早川氏が各地方長官を招待したのも此勤儉力行の美風を以て地方の青年を指導すべく、其請託を主としたものであることは、早川氏自身の聲明に依つて既に明かな事實である、然るに底事ぞや、勤儉力行を獎勵し且之を鼓吹する筈の此會合が、蕩兒の燕樂と毫も擇りなき脂粉狂亂の亂宴に終つたと云はれるではないか。

杯盤の間を斡旋する者が、狹斜の巷から選抜された數十の阿嬌であり、それが又尤も客人を歡ばしめた趣向であつたと云はるゝに至つて、報德會の所謂勤儉力行は果して何處にありや、地下の尊德翁も、定めし眉を顰めてたであらう。

吾人は現代の社會が僞善的行爲を默認するの餘りに寛大なのに驚くと共に自ら行ふ所を以て其云ふ所に裏切り乍、靦然として猶人心の指導を論ずる大膽に驚かざるを得ぬ』云々。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

如何に平和を迎ふべき乎

前衆議院長
廓清會々長　島田三郎

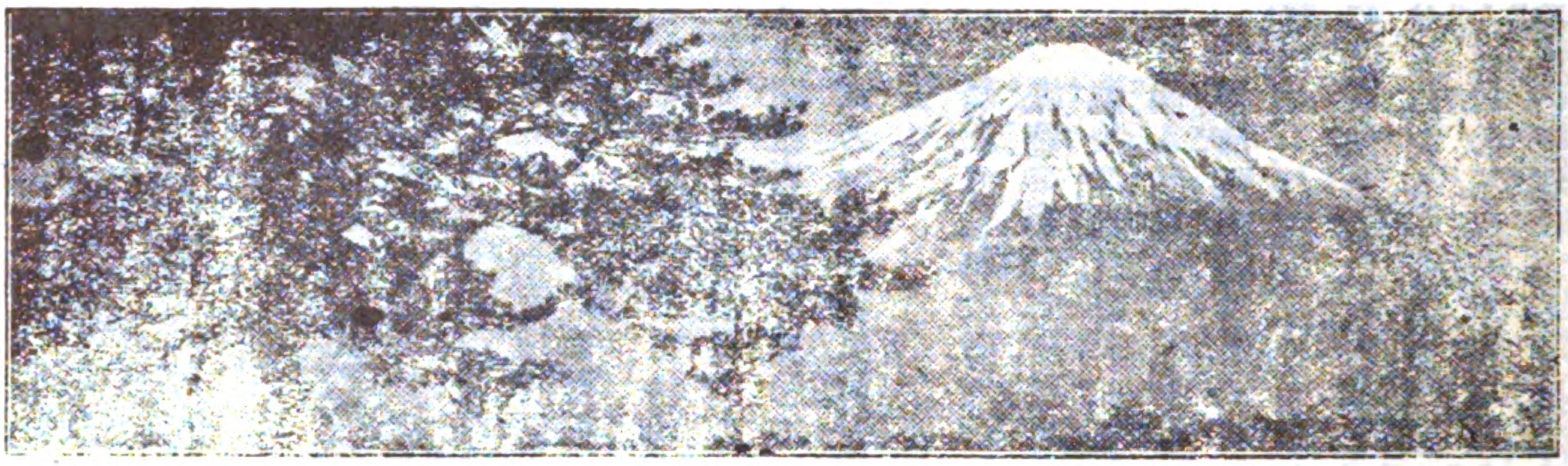
□天の一角に平和の曙光輝く

歐洲の大戰亂は獨軍の中央進出によつて巴里に迫まる事三十里に及び、容易に衰退の色を示さず、果して何れの日に終熄を見る可きか全く逆睹するを得ざるに似たれども、最近諸方面よりの報道を綜合して考ふるに、交戰各國とも漸く戰に倦みて衷心平和を喝望するの狀がある、戰備愈々整ひ、兵力益々加はりつゝありとするも、既に漠々たる戰雲の間に、平和の曙光天の一角に微紅せるを窺得するのであつて、若遠からず西部戰場に一大會戰ありとすれば、それは燈火の將に滅せんとして大に輝くが如きものであらう。然らば將に來らんとする平和を如何に迎ふべき乎。今日に於て研究すべき大問題である。

□戰爭の及ぼす二大矛盾

昨年中兩軍の費消したる戰費は、二千二百億圓と稱せられてゐるが、此外に獨軍の死傷のみにて三十五萬を數へ、有ゆる建設物の破壞、田園の荒癈乃至產業の頓挫壓迫等一切の損害を加算する時は、殆んど想像し得ざる多額に達するのであつて、之を我國が日露戰爭に費した戰費の二十五億に比すれば霄壤の差がある。而も當時の我國の經濟狀態は如何といふに、既に危險に瀕し、識者は戰後の恢復に就ては非常なる痛心をなした。

戰爭の及ぼす影響は、啻に物質的方面に限らず、道德上にも顯はれて、各國とも男女の關係紊れ、病毒の傳播も亦猖んであるといふ。けれ共戰爭は斯く一面道德上に癈



類の氣分を漲すと共に、人類に對して嚴肅なる反省を與ふものにして、此の二大矛盾が國民を支配して其何れに多く傾くかによりて國家が興亡するのである。而して歐洲諸國が其慘禍に比例して、如何に發奮し戰後の準備に留意し來つたかと、諸種の報道によつて知ると共に我國が慘禍を蒙る事なきだけそれだけ何等の發奮の狀なき現狀を顧みて、警鐘を高打するの必要を思はざるを得ない。

□山中の賊よりも心中の賊

史を按ずるに、戰爭の大なれば大なるだけ、平和は比例して永續してゐる觀がある、佛蘭西革命とナポレオンが多くの國民と金錢を費した戰爭後の歐洲に就ても瞭かで、今回の戰爭迄は百年の平和が續いた、我國に於ても戰國時代ありて德川氏三百年の泰平を見た。これは云ふ迄もなく戰爭の慘禍を眼のあたり見る事によつて、之を厭ふが爲めであり、或者は今回の戰爭を指して『終りの戰爭』とさへ呼んでゐる。されば戰爭は語を換へて云へば平和の療法であつて、其療法が徹底的であれば從つて平和も徹底的である。

若し今回の戰役が軍國主義の根底に斧鉞を下して、戰禍を根本より斷絕せしめ得たならば、再び世界に此の慘害の見舞を受くる事は容易に來らぬといふ事は、想像し得る。同時に諸外國の區劃が圓滿になつて聯邦的となり道義を重んじて、私慾の爲めに他國を侵害するが如き事が漸次減少すべき傾向に進む事であらうと思ふ。

然れども民族の優劣によつて、國家の淘汰せらるゝ事は元より免れない、語に『山中の賊に勝つは易く心中の賊に勝つは難し』といふ如く、戰爭に勝つは寧ろ易いが平和の競爭は却つて難い。而して平和の競爭に勝つの國は必ずや道德的に健康なる國でなくてはならぬから、將に來らんとする平和を迎へんが爲めには、先づ諸德の根本たる男女間の關係より淨化すべく、心中の賊に克たなければならぬ。

女子保護同盟

廓清會理事　油谷治郎七

婦人の墮落する原因を探究し、其防禦と救護の方策に畢生の心血を注ぐ一婦人がある。其名をモウド、マイナー孃と呼ぶ。私が米國コロンビア大學で社會學を研究せる頃の同學生であるが、二十五歳で同大學のエム・エーの學位を領せるのち、直に一生を婦人保護事業に献げ、婦人の保護と救濟とを目的とする紐育のウエーバリー館の主任となり、今日斯の道に於ては、世界有數の人物と認められてゐる。マイナー孃は九年間紐育に於て親しく一千人の淪落の女につき精細なる研究を試みたが、其大體を示せば、墮落の原因は左の如くであると云ふ。

誘拐せられたるもの	二百五十六人
家庭の事情によるもの	二百十人
惡友の感化	百八十七人
個人的理由	百七十七人
經濟的事由	百七十人

誘拐せられたるもの丶うち、五十一人は無情にも其夫のために身を沈められたもので、三十二人は銘酒屋や舞踊館で誘拐せられたものである。家庭の事情によるもの丶うち、三十五人は母の不品行、二十八人は家庭の不和、二十三人は家庭の冷遇の影響による。惡友の感化のうち、多くは活動寫眞又は娯樂公園又は舞踊館等に於て交れるものである。個人的理由のうち、五十六人は婚約の男子に捨てられたるものと、私生兒にして其父親に見捨てられたるものであり、二十一人は美服を纒ひたさに身を汚したるものであり、十人は享樂の慾情に驅られたるものであり、經濟的事由のうち、六十六人は働く仕事のなきため、二十三人は食料と室代の金を得たきため、十九人は我兒又は我母を養ふ必要に迫られたるため、二十三人は工賃の少くして自ら支へるに足らぬためである。以上は極て其大體を擧げたるものであるが、亦以て保護の方法にして全きを得ば、十中八九まで其淪落を防ぐに足ることを示すであらう。

□　□　□

マイナー孃は曰く、「一夕妙齡の勞働婦人のクラブで演説した後で、其婦人たちと膝を交へて、大なる都市に於ける道德上の危險について談じましたが、數名の婦人たちは、新聞の人事廣告や職業紹介所を經て、職を求めやうとして出會つた案外なる經驗や、其働いてゐる地位での危險を語り聞かせました。忽ちに私の胸に湧いたのは、是等の婦人が婦人寄宿舍や、工場や又は娯樂場へ出入するとき、乃ち以て非常なる婦人保護の勢力として用ゆるに足ると云ふ思想でありました。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

彼等は其危險を私共に告げてくれることによつて、社會のうちの防禦力を强めることができるし、又他の人々を保護することによつて自らをも强くすることができます。斯る考から出來たのは「女子保護同盟」であります。』

□　□　□

女子保護同盟は實にマイナー孃の主唱に依り千九百十年を以て紐育に生る。其綱領に曰く、

道德上の危險より婦人を保護すること、
道德的敎育を促進すること、
正しき思考と淸かなる談話とを奬勵すること、
婦女のために經濟的狀態を改善すること、
婦女のために健全なる娛樂を保障すること、
生活の可能力に對する信念を皷舞すること、

是れ實に堂々たる主張にして而も肝要なる事業である。此同盟は女子が女子のために盡さんとする尊き奉仕であり、人生の根本的たる主義の敎育であり、生命の最も深き泉源に觸るゝ宗敎であるとも呼ばれてゐるのは、あながち誇稱でもない。

□　□　□

「女子保護同盟」は初め、若き婦女の住する地域に於て、二十五人乃至七十五人の自治的クラブを組織したのであるが、今や紐育市にある。二十八の同盟と、他の三市の同盟でも二千五百人以上の會員を有してゐる。各同盟は全く自給自治で會員は一ケ月五仙乃至十仙の會費を出し、幹部は會員のうちより選出す、篤志の指導者一人ありて、其集會に臨み忠告善導の任に當る。集會には豫め講話討論の問題を定め先づ十五分間指導者の講話ありて、會員の討論之に續く。經濟問題としては、勞働時間、失業問題、危險なる職業、勞働團體、能率と仕事などを論じ、婦人保護事業としては、女子保護の方法、正しく思考する必要、生命の可能性等を談じ、或は生活の標準を主題として服裝の標準、仕事の標準、健康と能率及び幸福との關係、家庭に於ける婦人の責任等を講ずるなど多岐にわたるが、常に婦人に直接關係あるものを撰ぶ。彼等は唯に講話討論により其識力を磨きて淪落の大原因となる「愚昧」を醫するのみではなく、指導者の人格に親しく接するによりて自ら高くせられ又自ら淸くせらるゝのである。同盟のクラブは講話討論のほか、毎夕各種の講義實習あり、讀書室あり、音樂室あり、會員は自由に自ら學び自ら樂む便宜あり、日曜日の午後には倶に茶を喫して樂しく聖樂を歌ひ又精神上の糧となるべき敎を聽く、唯に是に止らず、同盟のクラブには主任の住するあり、若き女子の忠言者となり、相談相手となり、又宿なき女子のために庇護を與ふ。家出せる娘子や、誘拐者の手を逃れたる婦女や、或は危險に瀕せるところより救はれたる婦人など、數限りなく其保護を蒙るのである。

モウド・マイナー女史

□　□　□

同盟の會員は道德上の危險より婦人を保護する義務あるものとす、商店、事務所、工場、娛樂場若くは家庭に於て、其身を誤るやうな境遇にあり、又は誘惑に會せるものを見ば、指導者同輩に告げずして、直ちに之を同盟の指導者に報ず、指導者は直ちに適當なる保護の手を延ばすのである。或は婚約の男子に欺かれたるのち捨てられて、進退全く谷れる女子を救ひ或は賴る邊なき若き女子等を誘惑して殆んど身を誤るに至らしめたる、不良少年團を起訴して、其女子等を助け、或は生活に絕望せる餘、身を誤らんとせる貧女の友となりて職業を與へ其沈淪を防ぐ。職業周旋所、活動寫眞館、舞踊館等が、窃かに女子を誘拐する手段を講ずるものが少くないが、彼等を告發して其營業權を取り上げしむることも少くない。

更に道德的敎育を促進するために工場內に講演を開きて女工の道德的向上を圖り、又同盟の會員の個人的訪問によつて弱き婦人を强くするにつとむ。

社會衞生の講話を多數の若き女子に聽かしめて、生命の秘義を領解せしめ、正しき性的關係を保つべき決意を促す。彼等の一生を契るべき男子は、其身に於ても其品性に於ても潔きものたるべきことを主張し同時に又、女子も同じく純潔を保つべきことを奬む。

正しき思考と淸らかなる談話は必要であつて而も其奬勵は困難である。工場又は事務所に働く若き女子が喜んで讀むところは、劣等なる新聞又は低級なる雜誌の猥褻なる物語や、破倫なる戀愛小說や、下劣なる講談又は雜報である。而して嬉々として互に談するところは、彼等の品性を高くする所以の事柄ではない。彼等の趣味を導きて淸からしめ、彼等の向上心を鼓舞して正しき思考をなすやうにするは、固より彼等の敎育の程度の進步に待たねばならぬが、同盟の會員が其開發に努力するに於て効果の著るしきものが少くない。

□　□　□

同盟の會員は又經濟的狀態の改善に熱心である。工場や商店に働く女子の多くは、其保護の爲に設けられたる法律の知識を缺き、其勞働時間の制限、夜業の禁止其年齡の制限、及び其衞生設備と防火設備に關する法制を知るものの稀であるが同盟の講演や討論で勞働法を領解し、その違犯を監督官に報じ、又は勞銀及び勞働條件に關する智識の交換につとめ、或は雇主と協力して勞働能率の增進を圖り、其待遇の改善に盡すなど、著るしく其効果を收めて居る、紐育にある婦人保護同盟に於ては、有望なる女子のために奬學金を設けて彼等の發達を鼓舞してゐる。女子職業學校や、市立高等女學校を始め又は三週間卒業の婦人帽子製造、ミシン裁縫及びタイプライタし等全部學資補助の途を講じてある。之に依りて婦人に獨立の資格を具へしめ、獨立せるものは更に進步せしむるやうに盡してゐる。

若き女子の爲に適當なる仕事を見付けて、危險なる地位と職業とを避けしむるやうに努むるは、同盟の職業紹介局の事業である。職業を求めて待つ秤に囊底屢々空乏を告ぐるものあり、是等の女子のために、貸出基金と救濟基金とを具へ、臨時の必要に應じ、又は失職の厄災に當つて女子の身を誤る

なきやうに準備してある。

娯樂の場所を改善し、及び更に健全なる娯樂の提供を圖るは、若き女子を保護するに肝要なることである。舞踊館又は活動寫眞館の設備及び其映畫が女子を邪道に惑はしむるごときものあらば、同盟は直ちに之を警察官に通告して其改良を期す。

夏時は郊外又は海邊に團體的の天幕生活を試み、冬期は同盟クラブに舞踊會や音樂會を開くなど、斷へず女子に健全にして淸潔なる娯樂を供へて、其情感の頽廢を防ぎ其純なる開發を期す。

然かも尙一を缺く。乃ち同盟は品性と奉仕の最高の理想に對して忠義と熱心とを燃やさんとするのである。「若き女子の日々の平板なる仕事に飽き、若くは平常の奮鬪に疲れたる心を轉じて、最高にして神々しき靈的の理想に向はしむるのである。人生の最も豐かにして最も貴き目的を解せしむるのである。無數の偉大なる男女が人類進歩の爲に勞したる其品性と其事業の教ゆるところ、自然と藝術と、書籍友人を通じて示さるゝ生命の美の現はるゝところ、自ら我等をして高潔にして强健なる品性の仰ぐべく、慕ふべきを感せしむるにあらずや、女子の心靈の最奥の琴線に觸るゝとき、いかでか共鳴せずして止まんや。

□ □ □

米國は大戰に參して、百五十萬の青年が八十ヶ處の兵營に集るに至つた、國防委員が是等のために陸海軍教練營所委員を設けて、兵士の道德衛生的保護に努めてゐるが、(本誌第八卷第一號米國戰時の廓淸運動を見よ)更に同委員によりて女子保護事業委員なるものが設けられた。其委員長に擧げられたるはモウド、マイナー孃である。陸軍卿ベーカ氏夫人、兒童局の局長ラスロープ孃、紐育市のジエームス、カツシユマン夫人、シカゴ市のウイリヤムダムマー夫人、フイラデルフイアのマルサ、フアルコナー夫人、加洲バークレー市のダンカン、マクダフイー夫人、セントルイス市のダニエル、ニユセント夫人、及び紐育のジヨーン、ロツクフエラー若夫人等名流婦人は委員となりて、國家的に女子保護事業に當ることとなつた。其事業の一は卽ち兵營に近き各都會に女子保護同盟を建設することである。而して又淪落婦人を隔離して救護し感化する事業を經營し、以て兵士の墮落を防ぐにつとむ。已に五十五人の監督官たる婦人は任命せられ、半ば警察權をも與へられて、各教練營所の附近都會に活動を始めてゐる。女子保護事業委員は、更に人の母たり姉たる人々のうちに教育的運動を開始した。かくの如くして各種の方面より女子の淪落を防禦し及び淪落せるものを救護し、以て婦女自らを救濟すると共に、青年男子の墮落を防がんとするのである。

(モウド マイナー孃の思想と事業に關しては孃の新著スレーウリー、オブ、プロスチチユーションを見らるべし。)

廓淸會公告

來る六月廿九日(土)午後二時、神田青年會館に於て左の順序により、廓淸會第七回總會を開く。會員諸君は奮つて來會せられん事を望む。

第一部 報告會(二時)
第二部 協議會(三時)
第三部 懇談會(六時)
第四部 演說會(七時)

大正七年六月一日　會長 島田三郎

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

大學改革案を評す

廓清會評議員　高島米峰

□官學漸く民本化す

帝國大學評議員會及臨時敎育會議で評議し決定せられた所謂大學改革案なるものを見るに、其の根本精神に於て今迄の學閥の大本山、官學の總府、官僚の製作所であつた帝國大學が、民本的の態度に出たといふのは、時勢の進運に餘儀なくせられたと、云へば云ふもの丶、國家敎育の上から考へて、兎も角も慶すべき事である。

第一、總長を大學の內外に人物を求めて之を選擧するといふ事、及び各分科の學長を敎授の互選にするといふことは、勿論當然な事であつて、既に京都帝國大學などでは實行して居る處である。今迄の如く天降り的總長や學長を戴くといふのは最早時代遲れの舊思想として葬り去るべきである。

□敎授停年の問題

第二に、敎授の年齡を六十歳迄と定めやうといふことも、頗る結構な事である。元より學問の研究及び學生の指導といふやうなことを、學者の年齡によりて制限するといふのは、穩當でない場合もある。七十になつても八十になつても立派に研究し、敎授の出來るものもあるのだから、さういふ人々迄も六十歳に達したから廢めさせるといふことは人物經濟の上から考へて損失と見なければならぬ。併し四十歳や五十歳のものでも、若朽で役に立たない敎授もある。斯ういふものはプロフエッサーといふべきでなくて、寧ろボロフエッサーといふ可きである。而して此種のボロフエッサーを擊退して、新進の學者をして之に當らせるには、停年制を設けることが最も有効であらう。西洋の學者には八十歳九十歳になつても立派なプロフエッサーも少くないが、日本の大學敎授は實際六十歳以上の者に何れだけ役に立つ人があるか、頗る疑問である。直任敎授にでもなると、たゞお株で位置を保つて居るにしか過ぎぬといふものが多い。十年一日の如く同一のノートを繰返して居る者さへ少くないのである。

□學者の待遇に就て

大學の講義で最も緊張した最も新しい、そして最も有益な講義をする者は、若手の講師及び助敎授の中に多く發見せられるのであつて、老敎授直任敎授、ボロフエッサーの徒に至つては、徒らに學生を惱ますにしか過ぎないといふ事を屢々聞及ぶのである。六十歳の停年を實行するとしても、尙ほ眞に研究の續け得られる程の學者があるならば、學士院に入れ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

て、其處で充分研究もさせ發表もさせるといふ方が良くはなからうか。日本の學士院は學者の姨捨山の樣に思はれてゐる學士院會員は老朽學者の過去の功績―といふよりは寧ろ閱歷―を重んずるといふ丈の意味しかないものになつてゐる。其の學士院が毎年一度授賞といふ新聞種を製造するだけでは、歐羅巴諸國の學士院に比較して見て甚だ心細さを感ぜさるを得ない。此處で役に立つ學者を入れて、それには相當の待遇を、少くとも貴族院議員位の物質的待遇を與へて充分に研究を續けさせるといふ事にしたならば、蓋し學者の幸慶である

待遇と云へば大學敎授の待遇は、他の官吏や實業界の人物の待遇に比して、頗る薄遇であると云はれてゐる。それでも直任以上の老敎授となれば、研究に差支へる樣な狀態に居るものは一人もないと斷言してよいが、唯最も氣の毒なのは講師及び助敎授の若手新進の待遇である。最も有力なる講義をして、最も學生に信頼されてゐる新進の學者が、講師である爲めに五年も六年も無給で働かせられたり、漸く手當を貰ふ事になつても、一ケ年二三百圓を超ゆる事が出來なかつたり又助敎授になつて見た處が、年俸四百圓の講座を擔任して辛く月給六十五圓位の割で働かせられてゐるといふのは、如何にも氣の毒なものである。學者優遇といふ樣な事も、屢々聞く處であるが、比較的役に立たないそして比較的生活に困らない老敎授を優遇するといふ事よりは、寧ろ新進の學者をして生活の爲めに研究を疎かにするといふやうな窮境から、救出してやるといふことの方が急務であらねばならぬ。

□學年を九月に始めよ

第三に、學年の始めを四月にするといふ事のやうであるが之は今現に小學校でも中學校でも皆左樣になつてゐる處から聯絡上の都合を考へた上の事だと想像せられる。併し乍ら全體四月を學年の始めとしたといふ事は、會計年度の都合といふことの外に、何等敎育上の意義ある根底の上に立つものではない。自分の考へでは、學年の始めは小學より大學に至る迄悉く九月にすべきものであると思ふのである。暑中休暇といふ永い休みは――小學校では一ケ月、大學になると殆んど三ケ月以上に亘る此の永い休みが、一學年の中途に介在してゐるといふことは、敎育上の効果を可なり無駄にする虞れがあるのである。

四月から七月迄極力敎へ込んだ事柄も、暑中休暇といふ永い休みの間に其半を失はれる樣な事がないだらうか。又四月が學年の始めであるといふ事の爲めに、上の學校に入學の準備だと稱して小學校でも中學校でも、第三學期といふものは殆んど滿足に授業が出來ない狀態になつて來てゐる。若し九月が學期の始まりであるといふ事になれば、入學試驗の準備の如きは、永い暑中休暇の間に緩くり間に合せる事が出來やうと思ふ。まだ其外に學校の敎務事務に關係してゐる者の立場から考へても、三月の廿五日から四月の八日頃迄の間に――小學の如きは四月の一日である――其僅かの日子の間に卒業生は送り出さねばならず、新入生は迎へねばならぬといふ樣な、重大な事件を何とか處置して行かなければならぬと

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

いふことは、可なり苦しい事であらうと想像される。それも四月を學年の始めにするといふ事が、教育上退引ならない理由があるといふならば止むを得ない事としても、何等さういふ理由にないのに求めて四月に學年を始めるといふのは、勞多くして効少いといふ事が、教育者の側からも被教育者の側からも云へる事だと思ふ。

□試驗廢止と學位令の改正

第四に、試驗を廢すとか卒業生を廢すとかいふ事は、褒める程の事ではないが、差支のない當り前の話だと云へる。專門教育を受けるといふ事、或は專門の研究をするといふことは、試驗の爲めになすのではないは勿論で、又卒業の時の成績が其人の一生を通じて、どれ程値のある事かは疑問である試驗などがある爲め試驗勉強の樣な無駄なことをして、能率を無駄にする馬鹿なものが出るし、卒業式などいふものがあるから、銀時計などに眼をつけて命を縮める事に頓着しない者が出て來る譯である。研究は飽迄研究であつて、人物は試驗や卒業式で作られるものでないといふ事を考へるならば、試驗を廢し、卒業式を廢するといふのは、當然なことだと云ひ得られる。

第五に、學位令を改正し總長の推薦とか博士會の推薦とかを廢めて了ふといふのもよい事である。大學教授になつて一年經てば當然博士になれるといふ樣な今迄の制度は、甚だ面白くない事が伴ふのである。研究して論文を提出して、學位を貰ふといふ事になれば、どうしても相當價値のある研究の結果を示さなければならぬけれども、一年間教授の職にあれば自ら博士になれるといふのでは、薄志弱行の徒は必ず安きに就いて論文を書かうなどゝいふ考を決して起さなくなり、制度が學者を墮落させる事になるのである。大學教授である、ないのを問はず、凡て學位を得んとする者は、必ず論文を提出して自分の學力を社會に認めさせるといふ勇氣を持たせて置きたいと思ふ。但し除外例としては、民間の老碩學などを優待するといふ樣な事の爲めに、推薦の道を存して置くのも惡い事でないとも云へやう。

□私學漸く認めらる

第六に、私立大學を認めたのは、頗る官學萬能の今迄のやり方とは違つてよい傾向と曰はなければならぬ。乍併豫科を設置しなければならぬといふ條件を附せられた爲めに、現在の私立大學で眞に大學たり得るものは僅に大阪の醫科大學と、京都の同志社と、東京の早稻田及び慶應の四つにしか過ぎないといふ結果になりさうである。そして其他の私立大學は現在の狀態に於ては、どうしても大學となり得ないのである。豫科を設置するといふ事は、容易な事の樣であつて、實際困難な事業である。其專任の教師を得るといふ事、其設備の負擔に堪ゆるといふ事、而して大學に入學する入員以上の人員を收容する事の出來ないといふ事等の爲めに、小さな私立大學では一寸手の下し樣がないかも知れぬ。さうして見ると之れは尙ほあるひは、考究すべき餘地ある問題ではなからうか。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□宗教科神祇科とは何ぞ

第七に、直接大學改革案に關係なき問題であるが、最近岡田文相が帝國大學の中に宗敎科を特設しやうといふ樣な事を言ひ出して、既に大學敎授の人々にも意見を述べさせたといふ事が傳へられてゐるが、それは果して誠意のあつての上の事か頗る疑はしい。或者は想像してそれによつて國民思想の統一を圖らうといふのだと云ひ、或者はそれによつて國民の民主的思想を抑壓する道具に使はうといふのだと云つてゐる。宗敎を政治に利用しやうとしたり、或は之を利用した歷史は何處にもあるのであるが、國民の思想を統一するとか、或はそれを抑壓するとかの爲めに宗敎を道具に使ふといふ樣な事は、餘程考へなければならぬ問題だと思ふ。いふ處の宗敎が果して佛敎であるか神道であるか、或は基督敎を意味するのであるか、それとも之等の宗敎を並び行はうとするのであるか、それ等も判然しないけれ共、更に近く塚本神社局長が神祇科といふのを大學に設けたいと云ふたといふ樣な新聞記事を考へ合せて見ると、且つ全國の神職大會に於て神社崇敬に關する建議案といふやうなものが出たりしたのを考へ合せて見ても、何だか眉に唾すべきものである樣に考へられる

一體神祇科などゝいふものは宗敎でもなく學問でもないものであつて、之を大學の一講座とするといふ事は、甚だ滑稽な事である。宗敎科の講座にも哲學科の講座にも入れる事が出來ないものである。さういふ物を特別なる一講座として設けて見た處が、何をそれによつて研究し出されるであらうか、前年前田家から金を出して作られた處の國體講座の如きさへ可なり持て餘されてゐるのであるが、さういふ樣な事によつて、國民思想の統一を圖らうとか、日本の思想の根本的研究をしやうといふ樣な事は、丸で痴人の夢に類した事である。

要するに今度の大學改革案は、大學の內部でも又臨時敎育會議でも餘程民本的に進んで來てゐるといふ事を認められるのであるが、而も文部省や內務省が神社崇敬とやら神祇科大學とやら、そんな古臭い思想に囚はれてゐる樣ではとんと話にならない。折角官學の宗府官僚の製作所學閥の大本山が茲迄進んで來たのだから、之を物にするといふ事は、一に文部大臣の考へによつて定まる事だと思ふのである。此際文部大臣は充分に國民思想の動いて行く其の道筋を研究して遺漏のない樣に處置して行かなければ、折角進んで來た此大學改革案もいつかは逆轉する事になるかも知れないと思ふ。

子供に惡い玩具

玩具の中には、隨分心理的に倫理的に衞生的に好ましからぬものが尠くない、今回兒童郊外取締聯合協議會は左に掲ぐるものは有害だと決定した。

▲危險なもの　パチンコ、煙花、鐵輪の獨樂、空氣銃、弓矢、吹矢、鐵砲、西洋マッチ、蕊口、大正スケート。

▲道德上有害　ベイ獨樂、メンコ、枝折、フヰルム、オハジキ、石蹴り。▲衞生上有害寫し繪、ゴム風船、ゴムホウズキ、クジヤメ藥、おもちやパイプ、土人形▲心理的有害ビックリ箱、疳癪玉、ピストル、お化花火、お化カルタ、蛇。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

女大學新評論（四）

『男女道德論』著者　一條忠衛

4—678

次に七去の第五項には『五に癩病などの惡き疾あれば去る』といふ道徳的規範があるが、之れも片務的になつて居る。結婚は家の爲めに行はれるので、自己の爲めでは無いからして、家の血統には何物をも替へられない。それで妻が癩病とか肺病とかのやうな惡疾に罹つた場合は家の血統を亂る虞があるから之れを離婚することになる。然るに夫が癩病や肺病になつた時は夫の家の血統の然らしむる所であるから、妻を離婚する必要もないし、又た妻は夫の家を以て自己の家とするのであるから、夫が斯かる難病に罹つても天より與へられたる夫であるから、自己の仕合のあしき故と觀じて我慢しなければならぬことに成る。然るに新道德では自己の人格を實現する爲めの結婚であつて、家の爲めの結婚では無いから、假令妻が癩病になつても夫が肺病になつても、飽く迄もこれを看護し、療養を盡して運命を共にしなければならない、惡疾の故を以て妻を離婚するなどは不正義の甚だしい者である。大正の今日に於ても我國の社會には、妻が惡疾の故でも無くて單に一時的の病氣に罹つてさへ、舅姑又は夫から離婚を宣告される事件が到る所に行はれて居る。殊に媒介結婚に據るのであるから、媒介者は結婚の成立を希望するために健康の眞相を秘するとになるので、夫妻の間に何等の直接的な健康の理解が無くて結婚する爲めに、結婚後に至つて驚き騷ぐことが一方ならず男子側でも女子側でも共に甚だしい損害を蒙るのである。

□　□　□　□

次に七去の第六項には『六に多言にて愼なく、物いひ過すは親類とも中惡く成り、家亂るゝ物なれば去べし』とある。この道徳的規範によれば、結婚は家を本位として成立したものである、故に女子が多言であつて家の內外に干渉し牝鷄の晨を司るは御家騷動の源であると解するのであるから、妻の多言が離婚の理由となつたのは古代道德に於ては尤なことである。殊に江戶時代のやうな武家封建の制度なるものは、秘密的軍政の社會であるから、女子を箝口して猿轡同然にして置くことは最も必要な道德であらう。けれども今日は時代も異なり、女子も學問を爲し、演說をも稽古して雄辯を議政壇上にも振ふと云ふ時代であるから、世界を總じて一夫一婦の家庭に於て、妻が夫を敬愛しながら賢明なる辯舌を振ふならば、幾ら多言であつても差支がなく、願くば懸河の滔々として流るゝが如く遣つて貰ひたい。寡言の德は無用の舌を弄さないと云ふ點にあるので、有用の舌ならば多言は男女を問はず平等に歡迎する所である。

次に七去の第七項には『七には物を盗

心あるを去る』と云ふ道徳的規範があるが、これも片務的になつて居る。夫が盗賊を爲した場合に妻は離婚することが出來ないので、妻が盗みをした場合にだけ夫は之れを離婚する權利がある。現行民法では之れに對して平等に相務的に取扱つて居るので竊盗強盗詐欺取財等の罪により、輕罪以上の罪又は重禁錮三年以上の刑に處せられた場合に限つて離婚の理由になつて居る。

以上の七去は女大學に於ては女道に背いた結果として、女子には一生の恥になつて居る。それで最後に『女は一度嫁して其家を出されては、假令二度富貴なる夫に嫁すとも、女の道に違て大なる辱なり』と反復して戒めて居る。斯樣に女大學は女子の再婚を禁じ、貞操を説くこと至れり盡せりであるが、又七去の離婚法によつて女子を捨て去ることも至れり盡せりである。さうして男子は再婚するも勝手である。妾を蓄へても勝手であり、花柳に戯れても勝手であり、又如何なる場合でも男子に對する離婚法なるものは無いのである。之れに由つて觀れば、女大學第四章は男子木位に製造した我儒勝手な道徳であつて、専制極まる惡法であると謂はなければならない。併しながら今日の日本社會には既に男女新道德もあり、新民法もあり、この専横極まる惡法は既に〱破棄されて女子の奴隷的境遇を救ひ得る妙方案が立てられてある。然るに一般の女子は未だ之れを顧みずに猶は舊慣の中に捉はれて暴虐なる男子の奴隷となり玩弄品となつて生活を續けて居るのは、實に淺間しい次第である。

第五章　批判

一　女子は我家に有ては、わが父母に専ら孝を行ふ理也。されども夫の家にゆきて専ら嫜を我親よりも重んじて、厚く愛しみ敬ひ、孝行を盡べし。親の方を重んじ、舅の方を輕ずる事なかれ。嫜の方朝夕の見舞を闕べからず。嫜の方の勤べき業を怠べからず。若し嫜の命あらば慎行ひて背べからず。萬のこと舅姑に問ひて其敎に任べし。嫜若し我を憎誹りたまふとも、怒恨ること勿れ、孝を盡して誠を以て仕ふれば、後は必ず中好なるものなり。

この章に關しては、福澤氏は下の如き長文の批評をされた。『女子は我家に養育せらるゝ間こそ父母に孝行を盡す可きなれども、他家に縁付きては我實の父母よりも夫の父母たる舅姑の方を親愛し尊敬して、專ら孝行すべし、假初にも實父母を重んじて舅姑を輕んずる勿れ、一切萬事舅姑の云ふがまゝに從ふ可しと云ふ。斯く無造作に書並べて敎ふれば、是れが人間の天性に於て出來ることか出來ぬことか、人間普通の常識常情に於て行はれることか、篤と勘考す可き所なり。實際に出來ぬことを勸め、行はれぬことを強ふるは元々無理なる註文にして、其の無理は遂に人をして僞を行はしむるに至る可し。女子結婚の後は實の父母よりも舅姑の方を親愛す可しと云ふと雖も、舅姑は夫の父母にこそあれ、我父母に非ず、父母に非ざる者を父母の如くするのみか、父母に對するよりも更に情を深くして、これを親愛せよとは天性に叶はぬことならずや。……人間の子にして父母を親しみ父母を慕ひ、父母にして子を愛し子を親しむを天性の約束なるに、女子が

他家に嫁したれはとて實の父母を第二にして、専ら舅姑の方を親愛し尊敬して孝行せよとは、畢竟出來ぬことを强ふるものと云ふ可し。或は尊み敬へと教ふれば、舅姑は固より尊屬目上の人なり。嫁の身として此敎に從ふ可きは當然なれども、扨親しみ愛しむの一段に至りては舅姑を先にして父母を後にせんとするも、子たる者の至情に於て叶はぬことならずや。

女大學は人に無理を責めて却て人をして僞を行はしめ、虚飾虚禮以て家族團欒の實を破るものと云ふも不可なきが如し我輩の所見を以てすれば、家內の交には一切人爲の虚を構へずして天然の眞に從はんことを欲するものなり、嫁の身を以て見れば舅姑は夫の父母にして、自分の父母に非ざるが故に、即ち其ありのまゝに任せ、之を家の長老尊屬として丁寧に事ふるは固より當然なれども、實父母同樣に博愛の情ある可からざるは、是亦當然のことゝして初より相互に餘計の事を求めず、自然の成行に從て圓滿を謀るこそ一家の幸福なれ。世間には男女結婚の後、兩親に別れて別居する者あり、頗る人情に通じたる處置と云ふ可し。其兩親に遠ざかるは即ち之れ離れざるの法にして我輩の飽くまでも賛成する所なれども、或は家の貧富その他の事情に由て別居することを能はざる場合もある可きなれば、假令ひ同居しても老少兩夫婦の間に相互に干涉することなく、其自由に任せ其天然に從て、雙方共に苦勞を去ること人間居家の極意なるべし。」

□　□　□　□

右の福澤氏の批評によつて吾々は最も要領を得た知識を與へられたが、蓋し支那の古代道德にあつては仁義禮智を以て總論的に道德的規範としたのであるが、各論的には五倫に分けて親子の關係に生ずる孝を以て首德と爲し、之れを萬德の隨一に置いたのである。江戸時代に至つては此の思想を飜譯して、孝を以て五倫の首と爲し、親に孝であればそれで爾餘一切の道德を行ひ得ると爲したのである然らばこの孝とは何であるかと云ふに親を愛しむことである。我を生み、我を掬育して永く艱難辛苦の中に我を成人させた親に對する報恩である。それで人間たる者は何人でも孝の道德を行はねばならぬことは倫理學上今日に於ても當面の眞理である。鳥にさへ反哺の孝があると云はれる位であるから、況んや萬物の靈長たる者が親に不孝であつて能いと云ふ理窟は西洋諸國にも無いことである。けれども此の孝といふ道德は親子の生活關係によつて異ならねばならない。東洋に於ける親子の關係はこれを四種に分けて考なければならない。(一)實親實子、(二)繼親繼子、(三)養親養子、(四)舅姑嫁婿である。さうして又これを血緣及び養育の二方面に分けて見る必要がある。第一種は血緣關係の親子であり、第二種以下は緣組關係の親子である。つまり第一種は眞正の親子であつて、第二種以下はその待遇として親子である。さうして第一種以下第三種までには養育關係のある者と無い者とある。血緣を分けた實親子の間であつても、我を掬育して成人させた親もあり、又は生んだまゝ路傍に捨てゝ去つた親もある。又血緣關係のない繼親繼子の間でも幼より我を慈愛して實子同樣に育てゝ呉れた繼親もあり、犬猫同然に之れを虐待した繼親もある。又血緣關係のない養親養子の間であつても幼

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

より我を撫育して成人させた養親もあり又は成長の後に縁組によつて親の資格を得た養親もある。それで此等の複雜した親子の生活關係に對して、同一の孝を以て生活の規範を律することは出來ないのである。孝とは必ず血緣と養育の二方面的要素が無ければならない。この二個の要素を有する親に對する報愛の情として孝の觀念が湧いて來るのである。これが本來に於ける孝道の道德的意義である。けれども血緣が無くとも幼より實子の如き撫育された繼親又は養親は事實上實親に準ずべきものであるから、その恩愛の心よりして孝を以て之に擬し、實親關係に待遇して取扱ふのである。然るに舅姑嫁婿の生活關係に於ては血緣關係もなく養育關係もない。二十三十になる他人の子女を自分の子女に配したゞけの事件に過ぎないので、嫁婿から見れば舅姑は何處までも自己の配偶者の父母であつて法律上は直系尊屬たるに過ぎない。而して一方舅姑に對しては何等の敎が設けられて居ない。舅姑は嫁を目するに他人の子と爲し、飽く迄も息子の嫁として取扱つて居る。若し之れを我が生みの娘の如くに重んじて厚く愛しみ敬ひ、子孝行を盡すべしと云ふ敎が存するならば七去の道德は先づ第一に抹殺されなければならない運命に陷る。如何なる場合があつても自分の愛する娘を捨て去ると云ふことは、洵に無慈悲な鬼親になるからである、然るに女大學ではこの七去の道德を以て嫁を支配して居る。その片務的なることは顯著たるので、嫁だけに舅姑に對する絕對無限の義務として孝道を命じたものである。その結果は何うなつたか、この無批判的な道德は遂に紙上の空論となり、實際に於ては行はれ得べくも無く、嫁は舅姑の奴隷と化するか、又は嫁姑の大爭闘となり犬猿も啻ならぬ仇敵關係に化さねば止まない有樣になつた。今日の日本社會は實に親夫婦と子夫婦との暗闘に苦しんで居る。併し乍ら之れは極めて愚劣なる生活であつて、支那人又は日本人に特有なのである。吾々は斯かる未開の生活を脫するには、今や別居の方法を以てすべきとは福澤氏の力說される通りである。然るに尙も舅姑に修養を說き、妥協を夢見る女子敎育家連は古い皮嚢に新しい酒を盛る者である。

□國立自由戀愛局

近頃露紙の傳ふる所に據ればフワルインスクといふ市で今度「女子の社會主義化條令」といふ珍妙な法律が發布された條令の正文は

第一條　十八歲以下の處女は地方勞兵會に於て其人身の不可犯を保護す

第二條　十八歲以下の處女を猥褻なる言語を以て侮辱し若くは强姦せんとしたる者は革命裁判に附し重刑を適用す

第三條　十八歲以下の處女を强姦したる者は國事犯と爲し且つ若し其處女を娶ることを欲せざる場合は廿箇年の徒刑に處す

第四條　侮辱せられたる處女は自己の意に依り嫁せざるべき權利を有す

第五條　十八歲以上の處女は總て之を國有物と爲す

第六條　十八歲に達し而して未だ嫁せざる處女は必ず「自由戀愛局」に登錄すべき義務を有す

第七條　自由戀愛局に登錄したる處女は十九歲より五十歲に至る男子を自己の配偶者として自由に選擇すべき權利を有す但男子は女子の提議を申立べき權利なきものとす

第八條　「自由戀愛局」に附屬として「獨身男子會」を置く

第九條　男子も亦十八歲以上の處女を其の配偶者として撰擇すべき權利を有す

第十條　亭主又は女房を撰擇せんと欲する男子又は女子は一箇月一回限り撰擇することを得

第十一條　「自由戀愛局」は自治制とす

第十二條　十九歲以上五十歲以下の男子は「自由戀愛局」登錄濟の處女を撰擇すべき權利を有す而して國家の利益なれば女子の承諾なくとも可なり

第十三條　如上の配偶が設けたる子供は國有物となす

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

個人主義即國家主義

早稻田大學理事
廓清會理事　宮田脩

□人間生活の根底

近來獨逸に於ては、國家の爲めに子供を求める必要上、愛國的結婚といふものが行はれ、出征軍人を慰むる意味にてトライアルマレーヂといふ樣な事が許されてゐるといふ。英國に於てすらハートレーの如きは、其著『ツルース、アバウト、ウーマン』。又は『ウーメン、アンダー、ポリガミー』に於て、婦人は生活の爲めに淫を鬻ぐ筈のものだといふ樣な事を述べてゐる。

ドン、キホーテ流の言ひ方ではあるが、元來權利の爭奪といふ事は非文明時代の所產で、文明時代にはさうした猜疑であるとか嫉視であるとかいふものは除かれて了はなくてはならぬと思ふ。今事實を顧みても、假へば明治の初年迄は閥族關係といふものが最も濃厚で、敵黨とは緣組などしない有樣であつたが、今日は種々の閥は尙殘つて居つても、漸次其間の鴻渠は除かれつゝある如く、國際間に於ても將來の鬪ふ所は嫉視反目ではなくて、文明の惠澤を平等に潤ふ意味にならなければならぬ。さういふ時代に始めて風俗改良の問題、男女問題が徹底的に意味を生じて來るが、他國に對する自國といふ、而も戰爭を厭はざる時代に於ては、男女問題は元より一切の道德が軍國的國家の前に確立され得ない。前述の獨逸に於ける若くは英國に於ける狀態の如きは、其一證である。して見ると人間一切の生活の根底は之を個人主義に求めて、國家の理想も之に立脚しなくてはならないではあるまい乎。

□眞の個人主義は獨逸か

獨逸を國家主義の國と見る事は、萬人共通で全く異論のない處の如くであるが、私は或は寧ろ個人主義は獨逸にありはしないと思つてゐる。なる程カイザルの思想は軍國主義であり、カイザルの政府は軍國主義の政治を行つてゐるに相違なからうが、私は獨逸國民の思想中に、眞の意味の個人主義が見出されはしなからうか、と密に疑ひを有してゐる。元より今日は戰渦の裡にあつて知るに由ないが、戰後波紋の沈靜と共に、個人主義の擡頭を見るではあるまいかと思ふ。

英國は比較的個人主義の國の樣に思はれてゐるけれども、英國も畢竟、自國人だけの個人に過ぎない樣である。米國にしても然りで、カーネギー財團で發行されたる『永續すべき平和の基礎』の如き、其標題を見るも人類平等の幸福の見地

に立つべきなるに、又米國の爲めの米國に陷つてゐる。

□個人主義と利己主義

近來、我國にも個人主義の思潮は澎湃たるものがあり、是非の論議も隨分喧しい。現に先達て婦人問題研究會の席上でも、山脇博士と高島平三郎氏と論爭＝無論談笑の裡に＝せられた。面白いのは民間の學者たる高島氏が個人主義に反對し、行政裁判所長官といふ樣な嚴しい肩書のある山脇氏が强烈に個人主義を主張せられた事である。併し之は何れも其境遇から來てゐるのであつて、高島氏が直接學生に接して、個人主義の弊害を餘りに多く見てゐる爲めに、自ら個人主義だけでは不可いといふ說になり、山脇氏は官僚の間にあつて、國家主義の弊害を見過ぎて個人主義の宣傳者となられた譯であらうかと想像せられる。要するに個人主義と利己主義とを混同する樣な人達でなく、充分個人主義に對する理解があるから反對と云つた處で、之を學生に說く上に於ける寧ろ方法の問題であつたといふ程度のものであつた。

個人主義は動もすると利己主義と混淆せられるが、個人といふものゝ存在の意義は、周圍を沒却して考へらるゝものでない。常に周圍との上に交渉を有つてゐる處に存在の意義がある。故にそれを無視して我のみの便宜と利益とか幸福とかを考へるのは、結局木に緣つて魚を求むるが如きもので、或は捉へ得た樣に考へる時があつても、所詮は空影で實體でない事を知る場合が來るのであつて、却つて斯樣な考から出立した個人主義は、反對に非個人的結果を得るに過ぎない。

□個人主義即國家主義

個人に對して國家主義といふが、國家主義も要するに斯ういふ見地から視る個人主義と同一の結果になると思ふ。世界といふものを人類の一團體とするならば、其中に區別された國家主義は、丁度國家に對する個人主義と同樣に、其一小部分である。其國家主義なるものが果して當初考へた如きものを得らるゝかどうかと云へば、事實に於て得られて居らぬ。たとへば獨逸が國家主義、而も軍國主義と云はれてゐるが、其主義の下に活動し、同時に世界に雄飛してゐるけれども、獨逸のみに土臺を据へた國家主義は、決して世界から默認されない、橫暴を極めれば極める程利害問題に直接關係のある國家は勿論、間接の國としても之に對峙して勝負を決する樣になつた。而して結局何れが最後の勝利を戰爭の上に占むるか今の處明かでないが、假し獨逸が勝つたにしても、既に戰爭の慘禍を蒙つた獨逸の將來は略見當がついてゐる。聰明なる獨逸國民は再び斯かる事をなすべきでないといふ事を意識してゐるであらうと思ふ有樣をなしてゐる。

狹い意味の個人主義の輝く處は之と同樣である。けれ共ただ小さい範圍の中に終始してゐるのが個人主義であるといふならばそれは誤つた見方で、自他の交渉の上に立つ個人でなければ眞の意味の個人にはならない。斯うした意味で眞の意味の個人主義は、世界主義といふのか或は文明主義といふか結局世界を通じて等しく文明の惠澤の上に、人類の幸福の上に立つ主義と同一のものとなつて行く譯だと思ふ。（文責記者）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

出兵問題如何

早稲田大學教授
廓清會理事　内ヶ崎作三郎

□戰爭と國家との關係

今や我國上下の間に出兵問題が唱へられて居る。而して是非の論囂しく歸着する所を知らざる有樣である。此問題は政府のみの問題ではない。全國民の運命に係はる大問題であるから、我等も智慧を盡して考究を重ぬる必要がある。

乍併吾々は之れを論ずる前に今一度戰爭の意義を考へる必要がある。英國のヒッパートジョーナル誌の主筆ジャックスは今日の國家は戰爭によつて生じたるものであるから、若し戰爭がなくなれば今日の國家は發達しない。切言すれば戰爭がなくなれば今日の產業も經濟も乃至一切の國家組織は戰爭を肯定して存在して居るものであるから、戰爭がなくなれば存在の必要がなくなると云ふ議論をして居る。之れは新しき提唱である。一面よりは確かにさう見える。吾々の產業組織も租稅も戰爭を豫想していざと云ふ場合には軍費軍需品を調達するのが目的となつて居るやうに見えるのである。故に現今の國家組織では到底戰爭はなくならぬ。もし戰爭と云ふものが眞になくなるならば、社會的變動が起るであらうと云ふのが彼の議論の主旨であつたやうである。其後間もなく露西亞で過激派が天下を取つて單獨媾和を開始するに至つたのであるが、之れは當然彼の議論を說明するものであつた。卽ち軍國主義の撤廢せられたるため、上下激變して、國家的存在が疑はれるやうになつたのである。世界が露西亞の現在の如き有樣となるのは如何と思ふが、此議論は暗示に富むものと思ふ。

戰爭は惡い事に違ひない。併し一方には戰爭のため、犧牲獻身の道德が發達する。人間は戰爭のために腐敗墮落より救はれ、純潔高尙となるのである。トライチケは「神は人類に戰爭を與へて人をして道德的に覺醒せしむ」と云つて居る。戰爭は悲慘であるが、戰爭ほど人類を嚴肅ならしめ、覺醒せしむるものはない。戰爭は一般に人類を向上せしむるものである。吾々は玆にも亦眞理を見る。とにかく現代の歐米は今日戰爭の試煉をうけつゝある。此ために國民の精神は緊張し智的革命が行はれ、政治上、社會上急轉直下の勢で進步しつゝある。斯る現象を見て國民の將來を考ふる時吾々は種々樣々の感情に耽らざるを得ない。

歐洲の大戰は歐米の諸國をして斯く覺醒の機運に向はしめ、戰後に於ては歐洲文明をして正に一大變化を來さしめんとしつゝあるのに、我日本は果して如何、我國は聯合國に加盟し參戰したのであるが、中立國は何れよりも安泰にして、所謂高見の見物をなし、而して物質的には大なる利得をなして、曰く船成金、曰く鐵成金、曰く何、曰く何と、未曾有の有樣である。乍併、我國は物質的に得る所大なる丈け、それ丈け精神的に失つて居る樣な事はないであらうか。彼の九管事件、大官の自殺等は日本國民の精神的損失の如何に大なるかを示す一個の實

側に過ぎないのであつて、我國民は暗々の間滔々として腐敗墮落に向つて走りつゝあるのである。斯くては我國は戰後歐米諸國に比して如何に後れを取るであらうか思ひ半に過ぎるものがある。

□國民的ヂレンマ

近來論せらるゝ所の西比利亞出兵問題も此立場に立つて考究せねばならぬ。日本が出兵するは當然の事かも知れぬ。しかし五十萬の兵を西比利亞に送るとすれば初めの一ケ月は七百萬圓を要し、次月よりは少くとも四百萬圓を要すると云ふことである。若し百萬の軍勢を出すとせば一年間に何十億の軍費を要するのである。

夫れを如何にして充足せしむべきか。英國より借るか、彼に餘裕なし、米國よりか、彼は今日之れを肯じないであらう。假令金が出來るとしても我國は今やヂレンマに陷つて居るではないか、世論は前本野外相が出兵論にて英佛の贊成を得、米國及外交調査會の不贊成に會ひヂレンマに陷つて辭職するに至つたのだと云ふ。ヂレンマは本野前外相のみでない、日本國民自身がヂレンマに陷つて居るのである。國民の中に如何に親獨主義者の多き事よ。獨逸は中立國を通じて我國の朝野に手を延ばして居る。彼等は獨逸の傀儡となり、單獨媾和を唱へた。早く中立國となり、双方に物資を供給して富國を計れと唱へたのである。彼等は英佛は晩鐘であり、獨逸は曉鐘である。新興の獨逸と其行を共にせよと云つた。之れは今日我國民の中に見出し得るのである。如何に大なるヂレンマであるか。

乍併吾々は國際的信義の重大なるものなるを思ふ。日本が今日聯合國をはなれて單獨媾和をなす何の理由があるか。斯の如きは畢竟自家あるを知つて友邦を思はざる利己主義者の業であつて英佛米の信義に背くものである。日本は英米を敵として、果して立行くことが出來るか。利害の打算より云ふも斯くの如き謬説は吾人の取らざる所である。

斯く言へば、今日何處に國際的信義なるものありや、何れも國際間の道德の如きは無視せられつゝあるにや非ずやと云ふかも知れぬ。勿論英國と雖も國際的に僞善もあつた。マキヤベリーの如き、個人としては間然する處なき人物であるが、一度外交の矢面に立つ時は、甚だ好ましくない人物であつた。英國の外交にも甚だ感服しない事もあるにはある。

乍併獨逸の如き惡辣なる外交は之れを英國の外交史に見ない。獨逸は其勢力の及ぶ所、之れを奴隷の境遇にまで征服せざればやまない。墺太利然り、勃牙利然り、土耳其然り、今日の露西亞然りである。獨逸の前には屈服か、然らざれば滅亡である。彼と對立するには戰ひの外はない。日本が獨逸と提携せんには國體を變へねばならぬ。之れ日本國民の忍び得ざる所ではないか。之れを以て見れば日本は何處までも正義人道を闡明して『吾人は獨逸國民を亡ばさんとするにあらず、獨逸の軍國主義、專制主義を打破せんとする也』と聲言する英佛米と、徹頭徹尾行動を共にするのが、大和民族の責任であり、使命である。

我國民は此のヂレンマより脫せればならぬ。夫れがためには國民自身が、自身の努力、國民の潛在の智識及び其能力と勇氣とを以て立たねばならぬ。之れを以て國際的信義を破る事なくして進退するの覺悟が必要である。國民の腦裡に此の觀念なくして、徒らに出兵を决行せんか。夫れは大失敗に了らざるを得ない。斯の如き出兵は何等得る所なきのみか、悔を千載にのこす外はなからう。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

相撲と人生

三輪田女學校長
廓清會評議員 三輪田元道

□□ 力士も亦一種のピューリタン 眞劍勝負に鍛られたる武士道 □□

私は角力の道がどうの、手がどうのといふ事は云ひたくない。たゞ世の中に眞に實力競爭といふ事をやつてゐるのは、相撲だけであるといふ點に就て興味を有つのである。

彼等が相撲ふ前には、必ず水を飲んで鹽を撒く事になつてゐるのであるが、水は印度思想に於ては元素で、地水火風と云つて所謂四大を萬象の元素としてある。そこで水をつけるといふ事は、天地に還り、萬物と一體となる爲めであつて、鹽を撒くのは消毒の意で、清淨無垢になり精神の統一を行ふのである。細君がやれ成田樣でござるの、摩利支天樣だのと内にあつて手を合せ、夫の勝利を祈願する如きも、迷信と云ふよりも家族的精神統一である。斯くして相撲がピューリフアオされ、努めて勝つのであつて、此點に於て力士も亦一種のピューリタンとならなければならぬ。

それを藝妓が來てゐるなどとか、今晩は女郎買に行かうなんて思つて相撲つては勝てる筈はない。昔から劍客の偉い人は皆精神統一を行つた。宮本武藏にしても左樣である。柳生流では『身を捨てゝこそ浮ぶ瀨もあれ』といふのが極意で、昔は眞劍勝負であつたから、精神統一精神修養が行はれたのであつて、そこに武士道なるものも發達したのである。義務の爲めに義務を盡す、それが敵打で、高田の馬場といふやうな事になる。今日は其の眞劍勝負が見られなくなつたから、心膽を練る事が出來ず、自から武士道の實現が見られなくなつた。而も今日の社會は各方面の制度が皆眞劍勝負でない、立合もやらない狀態にある。

□□ 酒色の及ぼす顯著な影響 大男總身に智慧が廻り兼 □□

廓清的見地から相撲を視る時は、殊に此の酒色の問題が最も明瞭に現はれるのである。勿論力士に體格の大小力量の強弱といふ樣な先天性があるが、稽古の精勵と懶怠と、酒色の制御と放縱とは更に大なる效力を有して、優に先天的缺陷を補ひ或は先天的優越を空しからしめる。今日旺盛を極むる出羽海部屋が、場所中外泊を一切許さぬに對し、一月場所の如きは最も興味を以て迎へられた大錦對大潮の取組に於て、其前夜大潮が大醉して遂に休場の餘儀なきに至りたるが如き、赤裸々の實力勝負に於ては、最も的確に廓清會の理想は最も明快に、其證左を示すのである。たゞ大男總身に智慧が廻りかねて、彼等が酒色に沒頭して、比較的耽溺せざる者が頭角を表はしつゝあるに過ぎざるを惜しむのである

□□ 大學教授の停年は愚策 角力的實力勝負を行へ □□

先日帝國大學の教授會に於て、教授の年齢を六十歳迄にする。それ以上になつたら後進に讓るといふ事になつた樣であるが教授の職を名譽職と見るからさうした事にもなるのである。國家の上から觀て、頭腦が健全でさへあれば、永き研究を以てした方がよい譯であらう。併し概して耄碌した者が永く頑張つて困るからこれも亦便法としては止むを得ないといふ事になるのであつて、元より上乘の方法ではない。

一體教授の椅子を一つにする事が不可いと思ふ。即ち講座は一つに限らないで二つも三つもにする。たとへば倫理學なら倫理學の講座を三つ位設けて、學生は自ら好きな人の講座に行つて聽く事にしたら、學力のないもの衰へた者は自ら淘汰せられて行く。敢て六十歳といふ樣な年齢で限る樣な下手な眞似をせぬでもよいのである。

角力を見ると決して年齢で限らない。或力士は早熟して早衰し、或力士は晩熟して比較的永く續けるといふ風に、たとへば此間物故した大砲萬右衛門の如きは二十位迄は身體ばかり大きくて角力にならず、役に立たぬと思はれたが、二十歳を超えてから横綱を張る迄に至つた。鈍臭い性格は昔と變らないけれども、實力が漸次顯はれたのである。太刀山などは隨分强い力士であるが、所謂晩成であつた事は人の知る通りで、而も永く取つた未だ二三年は差支ない位であるけれ共、永い間天下無敵で國技館に於ける彼の額を見ても殆んど空前絶後の盛名に對して其名を汚さぬ内に引退した。常陸山も隨分强かつたが、彼は寧ろ早熟に近く、力士になつて二十二三で絶頂に達する者と三十歳乃至三十五六歳で絶頂に達する人とがあつて、其間十年以上の差があるやうである。學者とても此點は同樣で、六十で耄碌すると限らず、七十以上で益々頭腦の熟する人もあれば、三十四十にして鈍くなる人もある。故に六十の停年は或意味に於て遲いとも思はれるし、早いとも思はれる。乃ち人によりけりで、年齢で定むるといふ事は、誠に熊公八公が物の處置に困つて、チャンケンポーで行かうといふ如く、如何にも平凡である、歐羅巴にもさういふ例はあるけれども、要するに最上の方法でなく、講座を多くして學生を選擇せしむるに越した事はない。即ち實力の競爭で、相撲は決して年齢で制限しない、取れる間取る。丁年未滿でもよいし五十歳と雖も可なりである天下公衆の面前で實力を以て相爭ふ、實に公平である。角力は裸體で野蠻であると曰はれてゐるが、願くば學者もさういふ組織にして欲しい。角力は卑俗なものであるが、學者の年齢を限つた等の如何にも見劣りがする。

□□ 國務大臣は複式選擧にせよ
會社の重役も亦實力勝負によれ □□

相撲的實力競爭は政治家にもやり度い政治家には黨閥があり、黨閥の中にも出しや張りが巾を利かし、陰險な奴が勢力を有し、さうした者が幹部の位置を占める。私はそれよりも議會に於ける辯論とか、人格により無記名投票をなし、運動などをしない事にしたい。金持なるが故にとか、あれをしないと反感を買つて困るからとか、反對運動をやられては厄介だといふ樣なことで、幹部にするなどは、全く以て馬鹿々々しい。

日本の國柄に於ては立憲君主は元より結構、萬世一系の宗家を大君と仰き奉

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る金甌無缺の國體は、萬民の等しく讃美する處であるが、補弼の臣たる國務大臣は投票すべきものであると思ふ。總理大臣などは宜敷複式選擧にすべきである。一體日本の內閣大臣は生命が短い、二三ヶ月から永くて三年五年、平均一二年であるから、從つて斯う早く內閣が變つて落ついて仕事か出來ない。而も國民は自ら推した大臣でないから、もう退いて誰かよい人に代つて貰ひたいと思ふ。之は何年間か安んじてやれる組織に改めなければ不可い。勿論大臣の任命は大權の發動によるのであるが、複式選擧の結果大權の發動を見れば、敢て憲法に悖りはしない。要するに大臣も實力勝負にならなければいけない。

其他會社の重役の如きも、株式を有つてゐるが故にとか、運動の巧みなるが爲めにとか、利害關係を打算して重役の椅子に置くのは不都合で、之も相撲同樣公明に實力勝負をやらなければいけない。

□□ 英國のナショナルゲーム 國民的ならざる我が相撲 □□

私は相撲を見る度に、相撲が裸體であり、個人的であつて、遊戯としては感心しないものと思ふ。遊戯としては團體的で、衆と共に行ひたいから、角力の如く東西優勝旗の取り合ひといふ事も行はれて來たけれども、結局個人的が其本質であるから、團體とか協同とかいふ點に於て理想的ではない。英國ではボートをナショナルゲームと云つてゐるが、日本では相撲を國技と稱してゐる。ゲームといふ點からは私は角力は感心しないものであるけれども、實力競爭をするといふ武士道的のものとして見ると、甚だ興味を覺え、且つ之を社會の制度に當て嵌めて行く必要を思ふのである。而も西洋に於ては、日本の角力的實力勝負が社會の各方面に於て行はれてゐるのを見るのであつて、角力を國技と稱する程の日本が一日も早く實社會に之を推擴めて、虛器を擁して身分不相應の貪りをなさしめざるやうしたいもので、相撲からその精神は大に學ばなければならぬと思ふ。

◇繪ハガキに現れた女◇

文學士　菅原教造

繪葉書にも種々あるが、藝術的に價値のありそうなものを採つて觀ると夫等の畫題は悉く婦人である、而もその婦人に依つて現されて居るものは戀愛で、其多くは自由の戀愛を取扱つてゐる、繪葉書藝術觀で傑作と思はれるものはやはり此方面のものに多い、之を

○取扱方の上　に觀ると地方的の歌謠、小唄、端唄、都々逸等の抒情味を含ませた浪漫的のものと、現實に扶つた寫實小說風のやり方との二種がある、繪の系統は胡龍齋、春信、豐國國貞、歌麿抔德川時代の浮世繪を多分に取り容れて居るもの、民間藝術、土俗藝術として大津繪を取り容れるもの、或はウイリヤムブレーク、ビアズレーあたりの西洋阪畫や後期印象派の風を受けて居るもの抔種々あるが、要するに是等諸系統の混成品と見れば間違ひはない、更に

○描寫に就て　觀れば昔のやうに三味線を添加することによつて藝者を想はせるとか、或は三十二相を具備させるとか、因襲的な描寫では最早滿足せず娼婦にしても却々纖細に出てゐる、彼の胡龍齋などが單に衣裝の線や模樣などばかりを入念に描いて居るのに滿足せず、殆ど擧物病的に見ゆるまでに身體各部々々の容姿を可なり巧に描いて居る、要するに不眞性、低能性、犯罪を帶びた婦人の

○薄弱な精神　の特徵が眞く現れて居る、而も夫等のものが理智を以て描かれて居る場合には其不健全不眞なるものであることを悟ることは比較的に容易であるが、夫れが抒情的に藝術的に描かるゝ場合には、一種の氣分となり情緒となつて迫るから知らず識らずの間に愛翫し、保存し、不健全な病毒に冒さるゝから、夫が慢性にならぬうちに手當を要する、畫家は夢二最も傑出し其他馬城友三、シンヤ、三重三、安藤等がある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人の潜勢力

實業之日本社長
廓清會評議員　増田義一

□迷信的の謙讓と自信力

凡て人は自信がなければならぬものである。自信とは云ふ迄もなく己れ自らを確く信じて動かぬといふ事であるが、此自信のある人といふ者は極めて稀れであるらしい。男子に對しては這麼ことを云ふ譯には行かぬが、婦人には全くそれが甚しいやうである。多くの婦人の中には自信といふことを、自惚に曲解して居るものもないではないが、之等は其誤見も甚しいと謂はねばならぬ。自信と自惚とは全く其意味が違つてゐるのである。

何時頃の時代からかは知らぬが、婦人の美德とす可きもの丶内で最も重要視され來たつたのは、謙遜といふことであつた。今も尚此謙遜が大なる婦人の力となつて居るが、之れがため婦人は少からず自分自らを輕くして了つたやうな傾きがある。私は婦人に取つて謙遜といふ事は悪いとは思はぬ。けれどもそれが迷信であつてはならぬといふ點に十分留意して貰はねばならぬ。世の中には隨分此迷信的の謙遜を何より婦人の德のやうに考へて、何も彼も謙遜づくめで世を渡つてゐる者がある。之等の人達は實に氣の毒の至りであつて、何故相當の自己の力を信じないのであらうかと疑ひを挾むで居るが、是非ともさうありたいものと思ふ。

□徳川時代の女の潜勢力

私の今茲に述べんとする處は、其自信力の話ではない。されどもそれがなければ、私の話は何の役にも立たぬ事になるから、豫め一言して置く次第であるが、婦人には男子も到底及ばない力がある。それは婦人の潜勢力である。世に聲名を轟かす大政治家が人のいふ事を頑として受付けない時であつても、其妻の言ふ事は一も二もなく急ぐ聞入れるやうな實例がいくらもある。之れを見て男子は案外鈍いものだ抔といふのは間違つて居る。實は婦人の潜勢力に由るものであつて、斯樣な力を婦人は皆持つて居るのであるから、此力をして塵に埋れさして了ふのは甚だ勿體ない事である。私の知てゐる或文豪は何ういふものか、他人のいふ事は容易に聞入れないのに、妻のいふ事はよく聞入れて何も彼も引受けて了ふ。婦人の潜勢力は斯く男子の想像だに遠く及ばざるものがある。然るに現代に於ては其の力が全く減退して了つて、殆ど見る蔭もない有樣であるが、何とかして之れを昔の徳川時代のやうに、絶大な潜勢力を持つやうにしたいものである。

徳川時代の婦人には、潜勢力が最も目覺しく活いてゐる。當時の婦人氣質を代表したもの丶内に、家康公

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の御家事に携はつた彼の有名な女丈夫として未だに世上の學を受けてゐる春日の局を擧げなければならぬと思ふ。彼女の履歴に就ては世人の多く知る處であるから、今茲に其駄言を述べる必要はないが、彼女の一生を通じての活躍振りには誰しも驚くであらう。それも之れも皆潜勢力の然らしむる處であつた。家康公が駿河に隱居するの身となつた其後の大奥は隨分亂れて了つた。殊に風紀の方面は甚しいといふ事であつたが彼女はよく婦人の身であり乍らお家の爲め、日夜寢食を忘れて其改革に努め、遂に昔日の面影を一變するに至らしめたのである。其一つの事柄丈でも十分賞嘆す可きであるのに、未だ〳〵それ許りではなかつた。凡ての方面が皆然うであつて、三代將軍の世繼事件の時に於ける彼女の活き振は實に見上げたものと言はねばならない。

□春日局の潜勢と自信力

三代將軍を立てるに就て大奥の殆ど全部は、兄の竹千代を差置いて弟の國千代を世繼ぎとしやうといふ狀態であつた。二代將軍秀忠も又さういふ考へを持つて居たから、春日の局の心痛は一方でなかつた。併し彼女は如何なる辛苦もお家の爲めとあらば、少しも厭はずに終始一貫竹千代の世繼を圖つて居たのであるが、如何せんさういふ狀態であるから據なく最後の手段を取つた。それは斯うである。伊勢參宮と稱して家康公の隱居地に立寄り右の話をして、是非此際兄の竹千代を立てなければお家は安らかでないといふ事を言上した。家康公もそれではといふので、早速鷹狩と稱し江戶に來つて秀忠公並びに竹千代國千代の兄弟と對面する事になつた。すると日頃世繼ぎの君と尊められた弟の國千代が、兄の竹千代の座す可き席に就いたので、家康公は『何故に竹千代の座に就くか、竹千代こちらへ來い。お前は世繼の者であつて主であるぞ。弟は如何に兄弟とは言へ從であるから、末座に控へて居られよ』と云つた。其處で始めて竹千代が世繼をするといふ事が決定したのであつたが、其れまでにした活きは、春日の局一人であつたのである。

三代將軍家光公が德川三百年の基礎を定めて、よく四海を平安に治められたのも、其裏面には如斯女丈夫が居たからである。其他にもう一つ述べて見たい事がある。三代將軍を立てた後の彼女の威力は何物をも壓伏した。だから大奥は勿論の事、流石の家光公でさへ彼女の言ふ處をよく用ゐたといふ。それ程偉大な勢力のある彼女が、或る冬の寒い晩に外出をした事があつた。すると其時刻は最う門限時刻なので、各所の門といふ門は皆塞つて了つて、門鑑がなければ入る事が能なかつた。けれども彼女の威力で行けば入れるのは當然であつて、彼女自身も然う思つて居たであらう。

□女丈夫も自信力の問題

然るに其當時の門番久松彦左衛門は、『如何に春日の局であらうが何の宮樣であらうが、門鑑がないのに通す事は相成らん』と何う賴むでも更に通さなかつた止むなく彼女は夜の明ける迄、寒さを耐へて立往生をして了つたのである。此場合並大抵の人であつたら何うであらう。これ程大勢力のある自分の云ふ事を聞かずに、終夜立往生をさせる抔は甚だ怪しからぬ、早速お拂箱だと云つて免職して了ふであらうが、其處は流石に彼女は偉かつた。翌朝家光公に對面をして委細を申上げた處、家光公が非常に立腹した時に、彼女の曰く『イヤ決して然うではない、あんな眞面目な君思ひの門番があるからこそ、お家は安かに保たれて行くのであつて、若しも無暗に私事を爲すやうであつては、それこそ大變である。早速御賞美を』といふ事を申上げた。之には家光公も大に感じて其門番の祿高を上げて遣つたといふ事である。

□反對に出でたる弊害

婦人の潜勢力に依つて種々の大事業が遂行された歴史は獨り我國許りの特種な事實ではない。遠く外國を尋れると矢張り其類を見る事が出來る。今から四十年前露土戰爭の時であるが、其當時英利西は土耳古に甚大な同情を持つて居た。それがため露西亞は非常な打撃を被つて、尠からず困つたが何うする事も出來ずに居たのである。其結果益々悲境に陷つて、戰は敗れんとするやうな傾きが見えて來た。すると茲にノブコイスといふ婦人があつて、志す處あり單身英吉利に渡り、時の宰相グラッドストーンに會つて、種々露西亞帝國の窮狀を訴へたのである。何人の意見でも容易に用ゆる事のない、グラッドストーンが遂に其熱心なる婦人の願を容れたのであつた。其の結果がブルガリヤの慘狀といふ書物を著し、ブルガリヤが土耳古のために非常なる窮狀に陷つて居るといふやうな狀態を、盛んに書き立てたのである、それがため今迄土耳古に同情を持つた多くの英吉利人は、遂に惡感情を懷くやうになつて、戰況は忽ち一變しさしも勇敢なりと誇つた土耳古軍は、敗れざるを得なくなつて了つた。婦人の力の偉大なるは、右の一事實に依つて觀るも實に氣持ちの良い位に、何者も動すのである。露西亞の文豪トルストイも妻に何事も相談して、決して獨斷的態度を執らなかつたといふ。又獨逸のモルトケ將軍も矢張同じであつた。其モルトケ將軍が甞て這麼なことを云つたさうである。家庭に居る時の自分の心は、宛然春の濃かな日光に浴して居るやうな心地がすると全く然うであつたがため英名を後世に貽し得られたのであつて、決して其本人のみの技倆才能では、遂く大事業を遂行し得らるゝ道理はないのである。家庭は如斯く幸福の中心となる可き處であるから、餘程妻たる者は注意しなければならぬ。

□自信力よく男子を勵す

然るに其反對を發揮されたら實に大變である。現在では何が何だか譯の判らぬ戰國となつた。彼の露西亞が、盛んに獨逸と戰つて互に雄を爭ふて居る當時の出來事であるが、露西亞にスクホムリノス將軍といふ有名な軍人が居た。其妻は大の虛榮家で、美衣美食に耽て他人に負ける事が大嫌ひであつたがため、或る獨逸人が其弱點に附入り、遂にスクホムリノス將軍までが獨探となられたといふ。之れなどは全く妻の罪であつて、妻にして然ういふ心がなかつたなら、或は現在のやうな狀態に露西亞はならなかつたと思ふ。斯ういふ事實は佛蘭西にも又あつた。佛蘭西の有名なボロパシヤといふ大新聞が、矢張り獨探のために妻が虜となり、頻りに佛蘭西の非を鳴らし、獨逸の是を賞したといふ。妻が美人であり虛榮心が高いがために起る事件は、往々にして如斯大問題を社會に提供するのである。

以上述べた通り婦人の力といふものが或場合に依つては男子の到底及ばざるものがあるといふ事は判つた筈である。が斯く大なる力を持ち乍ら纖弱い女の身で何が出來ますか抔と、自分で自分を賤すんで居るのは自覺の乏しい婦人であると謂はねばならない。けれども多くの婦人の中には、然ういふ偉い人も稀れにはあらうが、私抔には迚も夢にも其麼事を見る事が出來ないと。それは誤りの甚敷ものである。只實行するか否かの問題であつて、力の有無強弱を問ふ必要はない。之れが何か力事でもあれば兎も角、己のいふ處を他人に實行させるのであるから、凡て婦人の活は力でなくて、頭とさうして潜勢力の活き以外に何物もないと思ふ。婦人は其潜勢力のある事を確く信じなければならぬ。

反古籠

川柳に「身から出た錆聲で賣る流行唄」いふ墮落書生を風諫したものがあるが、近頃は其の聲が非常に多くなつた樣な傾向がある。唄の下劣極まることは少しく心ある者の顰蹙する處であるにの當局者は何故之れに相當の注意を拂はぬであらうか。先達も斯ういふ事實がある。婦人世界の講演會が芝の櫻川小學校内に開かれ嚴肅な講演の眞最中、窓下の路次をバイオリンを彈いて唄ひ乍ら通つて講演を妨げた事夥しかつたが、何れの方面から觀ても害の多い彼等を、況して神聖なる教育場の附近を大聲あげて徘徊するやうな事のないやうにしいものである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

家庭の和樂

東洋大學教授　高島平三郎

何うしたら家庭が圓滿に納まつて行くかといふことは隨分六ケ敷問題であつて我國許りでなく西洋諸國に於ても未だ之れといふ和樂の根本を捉へた者はないやうである。一言に家庭の和樂と云へば極めて容易な業のやうであるが、扨て其場合に遭遇すると却々思つた萬分の一も實行出來ない事が多いのである。夫婦の間を睦しくせよ、親を敬せよ、而して十分孝行をせよ、子孫を愛せよ抔といふ言葉は皆耳に蛸の出來る程聞かされた道德であるが、併しそれなら何うして、其實行をするかといふ事は、

□其說く者に依つて千差萬別で統一といふ物
□が缺いて居るやうに見受けられるのは甚だ

遺憾至極である。動もすると現在の若い婦人達の間には、家庭の和樂などは何の造作もないことで、金があれば家庭は至極平穩に治るのであるから、決して其心配は要らないといふ考へを持つた者が見えるやうであるが、成程時と場合に依つては金の爲めに隨分稀れな悲劇を惹起すやうな事もないではないが、さう一々只金許りに依つて解決して行く事が出來るか何うかは疑問であらうと思ふ。勿論家庭といふものが社會の一部に組織されて存在する以上は是非とも相當の金がなければならないが、又金以外に極めて必要なものがあるといふ事を忘れてはならぬ。それはお互の感情である。氣持ちである。人間は妙なもので相當な生活が出來るやうになると、今度は情的方面に不滿足を懷いて來るのである。だから十分金のある家庭に不和を觀る場合があるのは、即ち之がためであつて只金さへあれば、と考へる者は之を得るも頗る慊らない事であらうと考へられる。要するに金は第二義の問題であつて、其中心點は矢張りお互の氣持ちである事に留意せなければならぬと思ふ。

或る父子の乞食があつた。其子供は幼ない時からの乞食育ちであるから、金といふ事に付ては我々と違つた考へを持つて居るので、別に之れといふ大した慾望もないから、結句自分の身の上が之で幸福だと思つて居る處から、或時大火事を見た子が「お父さん俺達は幸福だナ。皆なあんなに燒け出されて困つて居るのに其麼心配は少しもないから」と子供心に頓だお茶番を云ふと、其爺の曰く「之もみんなお父さんのお陰だ」といふた話がある。馬鹿氣たやうなお笑草であるが、味はつて見ると却々面白い處がある。斯樣に物事は考へ樣で何うにでもなるものであるから、金を得てそれで家庭が和樂になれるといふのは甚だ淺薄な考へであらうと思ふ。若し金さへあれば家庭が圓滿に治まるといふならば、金滿家の家庭は常に和樂の裡にあらねばならない。然るに實際は全く反對であつて却つて裕でない階級の家庭の方が和樂なのである。よく昔から「嬶十八、俺れ二十、何時も月夜で袷着る頃」といふ語がある、之れは僞らない告白であらうと思ふ。

□人生の幸福はお互に感情が融和して
□其間に一つの蟠りがあつてはならぬ

殊に家庭は我々の生活中心であるから些細なことでも每日々々であれば、其の

結果は案外大きなものになるのであるから、餘程注意を拂はねば取返しのつかぬやうになつて了ふ。婦人も然うであるが分けて男子は終日外に出で働く者であるから、若し家庭が不和であつたなら迚も苦しくて耐らぬのである。男子が家庭に歸る事が何よりの樂みであるやうであれば、圓滿は疑ひなしである。先年亞米利加で國内の學者達から『人生の幸福は何か』といふことを聞いた時に、其回答は皆同じやうに家庭の和樂といふにあつたさうである。如何に此問題が大切であるかゞ、之れに依つて觀るも瞭らかな事であると思ふ。

よく近頃の青年は云ふ、道德といふものは壓迫であつて我々の自由を認めて與れない實に氣持ちの惡いものであると。併し道德は決して壓迫ではない。只其人の考へやうに依つて、壓迫せらるゝやうに感じられるのであつて、何でも良いから一事さへ遣れば、それで壓迫であるや否やが判るのである又それと同時に他の事も出來得るやうになつて來るのであるから、此點をよく考へて貰ひたいと思ふ。元來品性は道德の低い人にあるものでないといふ事を聞くが、常に道德を守らない人に品性を求めるのは無理な話であつて、何うしても品性を高めやうとするには、一つでも良いから道德を高めやうとすれば良いのである。私の話も此道德問題に觸れて居るのであるから、是非とも之を頭に置いて聞いて貰ひたいと思ふ。世の中に何が強いと云つた處で、此の自分を思ふ程強い事はない。

□若し之れがなかつたなら我々の生存は
□何の意義もない事になつて了ふだらう

言ふ迄もなく自分が一番可愛いものであつて、凡ての事が自分といふ者を標準とし力として考へたり實行したりするのである。私の言ふ家庭の和樂の要件は茲にある。つまり自分を思ふやうに他人を思ふて遣らなければならぬといふ事なのである。自分を思ふと同じやうに、自分以外の人を思はゞ決して不和抔といふ事はない筈である。けれども其同情が眞に出でたものでなければならない隨分同情心のある人でも、動もすると却つて非同情的な態度に陷いる事がある。それは人の悲みを觀て共に涙を流して、眞に迫つた同情をする人も、今度は其人が或る目出度い事があつたといふ場合には、却つて嫉妬の根性を出して喜ばぬ事がある。如何に人間の弱點とは言へ、それではならない。矢張嬉しい事があつた時にも、悲しい時と同じやうに同情して、共に喜ばなければ眞の同情とは云ふ事が出來ぬのである。

人間が一人前になる迄には種々な事情境遇に動かされて、同情心に變化があるといふ事は爭ふ事の能ぬ事實であるけれども、此美しい處の同情心といふものを何うにかして赤ン坊の儘の持分を續けたいと思ふ。赤ン坊は無識であるが此方で笑へば、矢張笑つて居る。又泣く眞似をすると顔を顰めて、泣き出しさうな態をする。之等は眞の同情であつて、凡て斯う行かなくてはならぬのである。近頃は何や彼やで矢釜敷くなつた結果、日常の挨拶抔は甚だ無意味であるから、別段に『お早うムいます』などゝ馬鹿叮嚀に挨拶するのは時間節約上、何うしても改めなければならぬと言ふ者がある。併し人間の情といふ點から靜に考へて見ると、決して然うではない。向ふで『お早う』と謂へば、當方でも『お早う』といふ一つの同情に云ふに言はれぬ溫みと柔かさがあるので、此意味さへ十分判れば同情といふものも徹底される事と思ふ。

□日常の挨拶は無意味だといふ人は
□此同情といふものを無視した爲で

あらうとしか思へない。若し何の意味もなく只機械的に向ふから『お早う』とい

ふから、當方でも『お早う』と云ふ丈の事であるがためだとすれば、それは全く廢す可きである。其麽考へを持つてするなら、却つて同情心を傷くるやうなものであるから、遣らぬ方が増しである。

斯ういふ落語がある。權助といふ下男が非常に主人の氣に入りであつたが、元來此權助といふ男は大の無愛相な性分で、他人が「お寒う」と言へば、寒いつたつて俺の所爲じやねイ、と云つたやうに棒にも箸にも懸らぬといふ、見るに見兼ねて主人が或日の事「權助や、お前も感心によ働くいてくれて誠に結構だが、お前には一つの癖があつて困る。それは他人が叮嚀に挨拶するのに、寒いたつて俺の所爲じやねイ、なんて事では困る。向ふ樣が「お寒う」と云つたら「ヘイお寒う厶ゐます。此の鹽梅じや山は雪でせう」位の事を云へ、今迄權助呼ばりする人が權助さん位は言ふ」と叱言をした。眞面目一方の權助、早速翌日から「お寒う厶ます。此の鹽梅じや山は雪でせう」と一々挨拶するので、近所合壁の評判が大變になつた。あの權助が何を感ずつてか、馬鹿に御叮嚀な挨拶をするやうになつたと云つて人が無暗に「お寒う」と云つては戯むれた。併し權助の挨拶は千偏一率、少しも變つた事を言はぬで、毎日その筆鋒でやつて居たが、さう寒い時許りはないから、春になつてポカ／＼する或朝「今朝は温いね」と言葉を掛けられた。こいつには權助も非常に困つた。今迄はお寒う一方でやつて來たものだから「温かいね」の挨拶は全然知らない。そこで「ヘイお温かて厶ゐます」迄は言へたが其先が出ない。切迫詰つた權助山を見乍ら「ヘイ此の鹽梅じや山は火事でやう」と云つたといふ話がある。これでは全く駄目である。豈夫這麽無意味の挨拶をする者もないと思ふが、前にも述べた通り挨拶も一つの同情なのであるから、眞に心から出る迸りであつて欲しいのである。

言ふ迄もなく人の心は樣々なものである。昔から『杉はすぐ松は歪みて面白し人の心も木なり氣なり』といふて、十人寄れば氣は十種といふが、

□顏姿の違ふ如く矢張心もそれ相應
□みな相違して居るものであるから

全く一致するといふ事はないかも知らぬ。けれどもお互に心と心とを一致せやうとする處に、人間の眞價が見出されるのである。喜怒哀樂皆然りであつて、其一致する處を融和する努力といふものがなければ、到底同情などゝいふ事は得て求むる事は出來ない。子供を持つ親が現に懷いて居る處の、子に對する愛、其愛と同じやうに、矢張り水火も厭はぬ同情でなければならないのである。彼の社會主義者の出來るも同情といふ考へを持たぬ人達が産み出すのではないかとさへ私は疑つてゐる。此事實は極めて適切な例であるからいふけれども、小石川の砲兵工廠の前の、向ふ河岸に富士見樓といふ料理店がある。今迄でも可なり盛大のやうであるが、前年は特別景氣が好かつたと見え、二階或は三階でお客と藝妓の騷ぐ狀態が、砲兵工廠前の道路から手に取るやうに見えたのである。通り懸りの人は勿論、終日の勞働に疲れた砲兵工廠の職工が大勢立停つて其騷ぎを眺めて居る狀態を見た事があつた。誰しも見る人達の立場から考へれば、快よく思ふ者はない。漸々其氣持ち惡さが増長して、遂には石を抛ふるやうになつた。富士見樓では驚いて窓に金網を張つて了つた。するとお客と藝妓が丁度動物園のやうな處で、盛んに騷いで居たのであるが、社會主義者の生まれる所以は玆にありはしまいかと思ふ。

□餘りに同情を無視する結果は
□遂に利己主義に陷り易いから

それで同情心の强烈な人達は、このやうな狀態を見て彼我對照し、其麽に不滿を抱いて來るやうになるのではあるまいか。騷ぎたければ何故人の目に觸れぬ處で騷がぬであらうかと、實は私も大に考へたのであつた。私は社會主義者ではないが、要するにさういふ人達に是非とも同情といふ事に就て最う少しく考へて貰はなくてはならないと思ふ。

物質萬能主義の社會のやうな間違つた考へをもつ

人達に取つては金さへあれば什麼ことでも出來るから何も苦痛とする處はないと謂ふかも知れない。けれども人情は然うしたもの許りで、お互が溫い空氣に生存して居らるゝといふ譯のものではない筈である。物質も或程度迄は必要であるが、それと同時に物質以外の精神方面を閑却するのは間違いの甚しいものであらうと思ふ。現にさういふ事實に打突つて居る方もあらう。此の世の中の萬事には物質で償ふ事の出來ない場合があつて、例令幾何の金を積むでも、只一片の精神的同情に敵する事の出來ないやうなものがある。自分の胸の奥底の悶えなどは全く身も魂も滅入りさうになるが、其場合誰にか事情を打開けて、よく相談相手になつて呉れる者があつた際には、何れだけ心持が輕くなるか到底測る事は出來ない位だと思ふ。其單に心ばかりで同情した丈で氣特ちが輕くなり、心の悶がスツカリ晴れるといふ事は、物質のみに依つて萬事が解決する事が能ぬといふ證據である。

よく女には親友が出來にくいといふ事を聞く。それは全く自覺といふものが無いからだと思ふ。

□何うしても女は自分の心をさらけ出す事が出來ない處の缺點がある

此場合欠點といふのは少しく不當かも知らぬが、兎に角女は朋友の前に出ると衒ふ癖があつて幾分づゝでも、自分達の內容を多く見せやうとするから、相手が同情したくても其同情す可き骨子となる可き根本問題に觸れる事が出來ないで、お互に苦しい思ひをしながら、大きく見せやう〳〵として居るのであるやうな傾きがあつて、親友は出來にくいものである。若し然うでなく自分の悶へを驅け出して、相談相手になつて貰ふやうに、お互に力めたならそれは言はずと幸福なものであると思ふ。人間に取つて相談相手といふものはそれ程大切なものであるから、常に出來得るだけ其用意があつて欲しいものであるとお勸めする。茲に其極めて手近な實例がある。

先年水戶で自分の夫が或罪で入獄の身となつて非常に氣を惱ましたが、誰も相談相手になつて呉れる者がないため、此世を悲觀し遂に子供三人を抱へて、哀れや自殺を遂げて了つたのである。若しも其時に前に言つたやうな眞に同情して呉れる相談相手があつたなら、子供三人諸共に自殺を遂げる迄に至らなかつたかも知れぬと私は熟々感じた。だから煩悶に堪へ兼ねて相談に來る者には勿論、又さういふ事情の下にある人を知つたなら、お互に溫い同情を汲んで遣つて貰ひたいと思ふ。人生に取つて之れ程强い事はなく、さうした處に人生の幸福といふものがあるのである。

◎最近の廓清運動

△本部大演說會

五月八日本部に於て男女問題大演說會を神田青年會館に開く、定刻前より聽衆續々入場し、定刻既に階下は滿員の有樣にて、伊藤秀吉氏開會の辭を述べ、第一席醫學博士岡村龍彥氏は「遺傳梅毒の禍害」と題して、通俗に其病害を語つて、恐るべきを知らしめ、第二席內務省囑託直江準之氏は、「飲酒と風紀」の題下に得意の雄辯を揮はれ、第三席安部磯雄氏は「善種學に就て」と題して男女道德を善種學上より實證し、第四席油谷治郎七氏は「歐米戰時の男女問題」に就て國民保健の急を叫び、最後に會長島田三郎氏は「戰後の警戒」と題して滔々國運の現在及將來を論じて、聽衆に多大の感動を與へ、破るゝが如き喝采の裡に十時半閉會。來會者無慮千名、即時入會者三十五名、入場料四十圓を得た。

△濱松支部演說會

五月十九日濱松市濱武館に於て午後七時廓清大演說會を開く、滿場立錐の餘地なく、場外にありて聽かんとする者百餘名に及び、同地師範學校長にして本會副支部長たる津久井德次郎氏は、先づ登壇開會の趣旨を述べ廓清の主張を簡明に說き、次に本部主事伊藤秀吉氏は「公娼廢止論」と題し各方面より廢止の必要を痛論し、最後に島田三郎氏は急霰の如き拍手に迎へられて登壇「反省と警告」の題下に、例の雄辯を以て男女道德を高調し、公娼制度の謂はれなきを論じ、國家の將來を論じて大に警告を與へ、多大の感動を與へて十時半閉會した。來會者無慮七百名、同地首腦者多く集りて近來稀有の盛會であつた。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

學生なき大阪風俗

成女高等女學校長
廓淸會理事　宮田脩

數日前私は大阪に行つたので、短い時日に出來るだけの觀察をしやうとして東奔西走した。曾根崎新地や宗右衞門町の夜も、十時から十一時頃の間に歩いた。元より外部からの觀察であるが、兎も角も花柳界は大した景氣である。若い者が續々自働車で乘込んで來る。如何にも物質の都だと肯かれると共に、其の物質文明の發達と反對に、ゲーテの

■所謂「光りの強き處影深し」で＝精神的方面の缺如を思はしめる■

例の飛田にも行つて見たが、宏大な土地にコンクリートの高い塀が圍らされ、人世を呪ふ魔殿が盛んに建築されつゝあつた。私はあの監獄を聯想しなければならぬ樣な高塀と、やがて此中に固く閉籠められて、必ならずも泣く〳〵淺ましい生業を營ましめらるゝ、乙女達の事を思ふて黯然たらざるを得なかつた。

大阪に於て、私が最も異樣に感じたのは何かといふと、大阪に學生の姿の見えない事である。學生がゐないのか知らと、ふと思つた位で、いやそんな筈はない、醫科大學、高等商業、高等工業等を始め中學校は元より專門學校も澤山あるのに一向學生らしい人に出會はない。そこで或人に尋ねて見ると、

■大阪の學生は學校から歸ると＝す店者風な仕度に着換へる■

柔い物の氣の利いた身なりに改めて出歩くのだといふ。第一私は此の學生の風俗がよくないと思つた。

斯ういふ有樣であるから、若い銀行員とか會社員といふ樣な者の失敗墮落が甚だ多いといふ事である。自働車などで料理屋に浮れ廻つた身の果ては、必ず拐帶であるとか公金費消であるとか、さては詐僞橫領といふ樣な事にも立至るのである。これは曾根崎や宗右衞門町の夜を瞥見した處によつても、肯なはれることであつて、大阪の廓淸會員は餘程の努力を要すると思ふ。

大阪は、一寸街頭に立つても、電車に乘つても、東京に見られぬ活躍振りを感じ、如何にも商業の中心、經濟の中心地に相違ないが、此の忙しい活動は他面に其の慰安を要求するのは當然である。其

■慰安が適當に導かれなければ＝衝動的慾望の要求に墮落する■

のは必然であらう。而も打見たる處大阪には健全な高尚な慰安の道がない。宇治や京都迄行けば、美はしい自然にも親まれるが、これは稍々遠きに過ぎる。近くで云へば先づ濱寺であるけれども、この地にさへ料理屋や待合によつて汚されてゐる。況んや市内には公園といふものがなく、唯一の天王寺は、既に今日飛田遊廓を其の脚下に俯瞰しなければならぬ事となつた。

彼等物質に滿ち、慰安に憧るゝ青年が相率ゐて隨所に存在する飲む、食ふ、着る、而して遊ぶに趣くも亦宜なりである。これは要するに正面から道義を説き貞潔を説くとも、油と水で溶解しないから、寧ろ趣味の轉換を策し、美術音樂、學術乃至體育的方面に、高級な趣味の養成を圖るやう、社會の設備をして行きたい。

われ等の財産

常盤松女學校長　三角錫子

◎我等の財產は第一工夫し第二に實行するより生ろ◎

凡そ此世の中に貧乏ぐらゐ人を深刻に考へさせて吳れるものはないと思ひますよく昔から貧すれば鈍するといふ諺がありますけれども、それは只他人が觀る皮相であつて、其人自身に取りましては決して然うではないのであります。

先年京都の法大敎授の某博士が社會の階級を統計的に調査して、貧乏線といふものを作つたのを私が見た事がありました。それに依りますと線上に出て居るものは極少數でありまして、多くは線を中心として其上下に游いで居るやうな圖が書いてあつたやうですが、丁度私等は其階級に屬する類ひの者でありますから、皆樣も此仲間になつたと思召して暫く御覽下さるやう、前からお斷り致して置きます。

私が常に考へて居ります三つの要件は第一物事に工夫を凝らして改善することで、第二は何事でも然うでありますが、只工夫する丈では其効がないのでありますから、是非ともそれを實行する事が肝腎でありまして、第三は時の力、卽ち時間の問題で、如何に立派な工夫も又其實行も時の力を借りなければ、眞實の好果を得らるゝ譯のものではありませんので、此三つは極めて大切な事であらうと思ひます。私の話は其根本に此三要件が是非とも必要でありますから、其の考へを離さずに此われらの財產といふ問題に觸れて見たいと思ふのであります。

扨てわれらの財產と申しましても私は子供の時から、貧乏人の事であつて別に之れといふ物質の財產はないのであります。私がいふわれらの財產といふのは、此第一身體、第二精神卽ち靈であつて、此は私共が是非とも殖やさなければならない財產であります。從來婦人は自己の身體を態と弱くして居たやうな狀態であつたと思ひます。例へば少し身體の具合が惡くなつても、出來得る丈我慢を仕通し決してそれを面に表はさないで默々として働いて居る。そして之れを婦人の美德のやうに心得て居たのであります。御本人から言へば或はそれが一種の犧牲的精神のやうにも考へるでありませうが、之れは全く無益な話でありまして、斯うして身體を粗末にする揚句、遂には立つ事が出來ぬやうな取返しの付かぬ事を惹起すやうな事實がいくらもありましたが、これなどは何れの方面から觀ても益のない事ですから、一刻も早く此弊を除かねばならないと思ひます。

◎物價は當分下らぬと見て先づ暮し向きを革新する◎

斯う世の中が複雜になるに連れ、生活問題といふ事が益々難しくなつて參る時に際しては、我々の生活上に何うしても技術上の方面に就いて留意しなければならないと思ひます。今に初まつた事でありませんが、物價の騰貴は年々甚しくなりまして、何時になつたら此騰貴が底止するであらう抔と考へて居る人達があるさうですが、これは全く考へ違ひではないかと思ひます。何故かなれば此物價騰貴といふ事實は、我國ばかりの特殊傾向ではありませんので、世界到る處で此變目を見て居るのでありますから、たとひ此戰亂が終熄して一時は下落するやうな傾きも見えませうとも、元來物價は需給の原則に支配されるものでありますから、皆樣は決して下落抔を見越さずに、お互に十分留意する處があつて欲しいのであります。

つまり今迄月收百圓あつた家庭でありましたなら、五十圓に減つた事に極めまして、成る可く儉約にすれば結構遣つて行けるに違ひないと思ひます若し然うでなく今迄通り月收百圓として從來のやうに百圓の生活をするならば、其處には必ず缺損が出來て參りますのは、火を睹るよりも炳らかな事實でありまして差引計算して見るも物價騰貴の割合だけは、當然不足を生ずる譯になるのであります。之は何うしても矢張り月收が減つたものと極めて掛られば迚も立行かれますまいと考へられるのであります。

其麼ことを申しますと、中には儉約にしろといふが如何に儉約を守つた處で、要るだけは何うしても要るのであるから、然う口でいふ樣なそんな譯には行かないと反對をなさる方もありませうが、物事といふものは妙なもので些細な事でも工夫を凝らして、何とか之を旨く利用とか或は節約しやうと思つて掛れば、案外に意想外な方法が發見されるものであります。私は痛切にこの事を感じましたといふのは、人間はドン底へ行けば又其處には相當な踏む可き道があつて、案外何うにか斯うにか遣つて行けるものです。前にも申した通り貧といふものが人に對して與へる精神上の收穫は實に多大なものでありまして、私も其境遇にあつた時さう熟々感じたのでありました。從來こんな適切な方法を何故發見することか出來なかつたかとさへ不思議に思つたこともあつたが、要するに其場合に打突らなければ判らないといふ凡人の類のため、發見することが能なかつたのであつたと思ふと、それ迄の生活が全く空虛のやうな殘念な氣がして、これではならないと考へを入れ替へた事がありました。斯ういふ事も我々の財産の一つに組入れる可きものでありますから、常に此財産を殖やす樣に心懸なければなりません。

◎◎臺所の改良の餘地多々 借家を止めて月賦建築◎◎

其の一例を擧げて見ますと、先づ手近い所で臺所の改良であります。從來のやうに御用聞きや其他何や彼やで全く五月蠅くて仕方がありませんので、私は用さへ濟めば急ぐに臺所の戶を締めて、其處に今日は八百屋は何に、魚屋は何々と小さな黑板へ書いて下げて置くやうにして居ります。此方法は私ばかりの德でなく御用聞きも非常に便利ですといふて喜んで居りますが、凡ての事を斯樣に工夫を致しまして、お互に無駄な手數を省くやうに心掛ける事は、まだ多數あるのですから、徒らに忙しいと泣事ばかり言はずに、少しく頭を活用して頂きたいのであります。啻に臺所ばかりでなく全く日本の家屋は改良を要す可き個所が多いやうでござゐます。

けれども借家でありますれば、之を應用しなければ何の役にも立たぬのですから、馬鹿々々しいやうな感じが致しませう。成程他人のものでは左う無暗な事も出來ませんが、最う一步進んで自分の力で家屋の一軒位建てる丈の工夫をするやうにしなくてはなりません。何の女の手で其麼大事が能きますかと、疑ひを挾む方もあらうと思ひますが、決して疑ひなどを挾むやうなそんな驚く程のことではありません。婦人の力で抔といふて、男子も然うでありますが、婦人自身に於きましても極めて弱いものと極めて掛つて居るのですが、これは又頓だ考へ違ひなのであります。私も矢張り其婦人の身でありますが是非とも、自分が住む家屋位は何を措いても建てゝ見たいといふ決心か

ら、種々考へをめぐらして漸く最後の手段が浮んで來たのでした、それは斯うなのです。其時私の住むで居た家賃は十五圓位と思ひました。其他女中が七圓でしたから都合二十余圓は、全く何うにかしたら節約する事が出來ないだらうかと、種々其方法に就て熟考して見ると前申上げた通りドン底へ陷つた覺悟であつたがため先づ女中を廢して了ふことに致しました。さうなると却々忙しいから從來のやうなことでは迚も間に合はないので、隨分自分乍ら有益なことだと思ふ改良方法を幾つも發見する事が出來たのであります。併しそれだけでは一軒の家屋を建てる譯には行きませんので、今度は其家賃を二ヶ年半許り蓄へることに極めましたが、迚も其麽餘裕のある可き筈がないので、頭を惱まして居たのでありますが、丁度其時或會社があつて、其會社は希望の者に家屋を建築してくれるといふ而して其建築費を丁度家賃のやうに取立てるといふ最も便利な方法があるといふので、早速其會社へ申込み設計をして建てゝ貰つたのでした。其後も從前通り女中を、置かずに知らず〳〵に暮してゐる間に、僅二ヶ年餘で其家屋全部は私の所有物になつたのです。其時の喜びは全く夢かとさへ怪んだ位、一生忘れる事の能ない程でした。

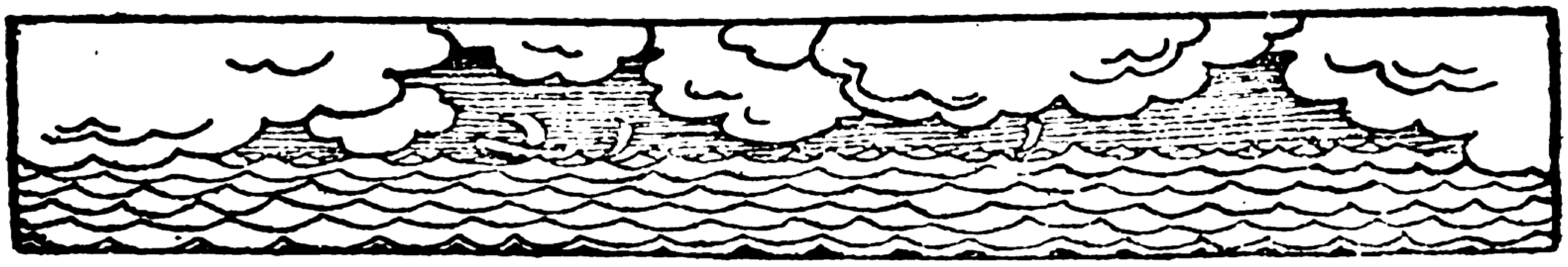
　出來得る事なら結婚の際に其費用を節約してお互に其幾分宛支出したなら結局一軒位は建たりさうなものだと考へられますから、之もお進めして頂きたいのであります。

◎廢物は其儘利用するに限る◎
夫の大酒を改めた新工夫

次は廢物利用の事に就て一寸述べて置きたいと思ひます廢物も財產でありまして其利用の如何に依つて貴重な物に變るのですが、それも勞力と時間といふ事を考へなければなりません、徒らに廢物利用といふ美名に驅られて、僅なものを莫大な勞力と時間を費すやうでは何の役にも立ちませぬから、廢物利用に就ては餘程工夫を凝らさなければならないと思ひます。よく斯ういふ事を聞きます。衣服を縫ひにやると不經濟だからといふので御自分でお仕立てになるのは至極結構な話ですが、上手なら兎に角餘り達者でもないのに、只矢鱈に節約といふ考へから、子供が何處へ行つて遊んで居るのも知らずに些細な仕立物で日を送るやうな方があるといふ之等は全く感心が出來ません。ですからよく其邊の處をお考へになつて仕末する事が肝腎なのであります。例へば新聞紙の廢物利用は其儘賣るのが一番の利用法でありますし、襤褸等も細なものを徒らに寄せ集めて無駄な手間を掛けて、却つて不經濟な結果を見るやうな事であつてはなりません。廢物は何處までも其儘利用するやうにしなければ、却つて廢物利用の趣旨に反するのであります。

　只今でも帝大に教鞭を執つて居られる某博士は、元來が大飲酒家であつた。種々其奥樣が御注意申上げたのでありましたけれども、容易に其癖が止まないので思案の結果斯うお諫めしたのであります「もう止めて下さいとは申しませんからせめて節酒して頂きたい。若し然うで厶ゐませんと遂には酒の爲め身體を害れるやうな事にならないとも限りませんから今後成る可く節酒して頂きたい」とのことに、博士も成程とお考へになつたものと見えまして、それから心許りの節酒をして其後三ヶ年の間過ぎたのであります。すると或日のこと、奥樣が其主人に向ひ、今日は天氣も大變好いし、又永い間外出もしませんでしたから、何にも云はずに私と一緒に外出して頂きたいとの頼みに、主人も變なことを妻が云ふものだと、別に氣にも留めずに打連れて外へ出たのであります。之から逗子の海岸へでも行つて、今日一日悠然遊んで來ませうと云ふので、主人は前の誓ひもある事であり、且つ行つても惡い處ではないのであるから、奥樣の後に附いて逗子に行つたのであります。奥樣は先に立つて突然海岸を前に控へた極めて靜な邊に建ちたる一軒の當世の風雅な別莊へ這入つたので、主人も默つて其後から這入ると其時奥樣は慇懃な態度で、兩手を束へて申すのに、此の樣な立派な別莊をあなた樣に作つて頂いて、お陰樣で之から此別莊へ度々來て、延び〳〵と慰安を得られますのも、皆あなた樣のお勤めです」とのことに主人は何が何だか薩張り理由が判らず、一體何の事だねと訝り乍ら奥樣に尋ねられた。そこで奥樣が又改めて、實は三年前から私の願を聽入れて下さつた、節酒の分が積り積つて今日此の別莊が建つことになつたのであるといふ話を詳しく申し上げたので、主人は初めて驚きイヤ頓でもない事をして了つた。之なら何故禁酒しなかつたかと大變殘念がつてそれからふつつり禁酒したといふ事を聞きました。私も其別莊を見た事がありますが、元より大して宏大な建物ではないやうでしたけれども、場所が非常に適くて加之風雅な作り方なので其上右のやうな由緒のある事ですから、尚一層敬虔の念が起つて私は非常な力強い或るものを得る事が出來たやうな感じがしたのであります。

　之等は全く模範的の工夫でありまして、實に見事であると思ひます。凡て斯うでなくてはなりませんと染〳〵思はれてなりません。



警察行政の威力如何

豊橋正會員　木藤冷劍

別紙新聞記事拔萃添付致候

暫らく御無沙汰のみ致し何共申譯無之候。御陰を以て小生は無事無病息災にて聖經に親しみ只管修養信仰の路を辿り居り申候。廓清問題の新聞雜誌は悉く〳〵目を通し居り申候。本年四月婦人公論、女の敵號の同性の見たる賣笑婦記事中、英枝鶯鳥等の記事を讀み憤慨に堪ず候。夫れにても、廓清會、婦人矯風會諸先輩の御奮闘は、實に心強く嬉しく存じ候。當地にも久しく自由廢業申出る者等無之、何分近年稀なる花柳界の上景氣に先年本會員の活動せし時代に比較して、約三倍の人員下らない遊びのため、莫大の費用を費し居り候昨日廢業は願出し女は別紙新聞記事の如く何分樓主の非道なる壓迫のため、耐え難く憤慨して、自ら髮を切り、廢業の志を貫かんとせしも追ひ返され申候。是等は警察より云はしむれば「イヤ君等の云ふ樣な譯には行かない双方の保護をしなければならないから」と斯う申候。

結局警察の方でも武德殿建設の名儀にて、大枚遊廓から金貳千圓も強制的にフンダクツタ關係上。やはり樓主の便利となつて了ひ候。大體警察官吏として、署長の名を出して寄附金を醜業者から取るなんてベラ棒な事有之あるまじくオマケに斯うした淪落の女の廢業に對して、新聞記事の如し、噫!!吾人はます〳〵大聲叱咤して男女貞操の爲めに廓清の義軍のために、奮闘せざるべからざるを思ふ次第に御座候。

禁酒問題と廓清會

麻布青年會　曾根正藏

吾等全國民を代表し、國家至高の理想に到達せんとする一の立法機關は即ち國會其ものである。國會で議決する處のものは吾等が採つて以つて生活の擔保なのであるから、其議する處の諸立案が不眞面目であるが如き場合があつたなら、吾々は夫に依つて生命の上までにも甚大な影響を受けるのは當然な事である。だから國會成立の要素たる貴衆兩議院議員が若しも不眞面目であるなれば、何うしても其議する處の議案も勢ひ下眞面目なものになつて了ふ。今靜に兩議院の狀態に就て考へて見ると、情ないやうな感じがする處があるやうに思はれて吾々のやうな者に取つて迄も何だか齒痒いやうな心持がする。

一體兩議員の多くは人の生命とする者が、只肉體のみに依つて生存をして居る事實だけ知つて、其生命の本源たる精神の威力といふ者を認めてゐないやうな態度が暸々と見えるのだから精神上の方面は全く御留守で何も彼も目先の切派詰つた遣繰算段に、何時も議會は了つて仕舞ふ。先達の幼年禁酒法案の如きも其類で上院にては見向く者もなかつたやうな譯であつた。

吾人は安部副會長が禁酒案の衆議院通過を喜ばれたる一文を讀んで、貴族院の態度に憤慨せざるを得ぬ。最も人格の高かるべき上院の廓清は實に大切である。

●娼妓髪斬自廢

四月八日午前十一時頃斷髮したる一人の娼妓が沼津署に出頭し受付の山田巡査に何事か訴へ出で居たるが同女は當市東田遊廓貴穗樓事宮田たか方出稼娼妓若住事原籍群馬縣利根郡沼田村大字沼田、德松姉山崎しげ(二十一)とて同樓にての賣れッ妓の方にて頗る美人なるも樓主が餘りに虐待するより何處へか鞍替せんと企て遊客等に語りたるを樓主が聞き込み何とかして足を踏み留めさせんものと若住に衣類を多數購入せしめ前借を殖したるより憤慨の餘り自己の黑髮を斬り自由廢業を申出でたるものなるが懇々と其不心得を訓誡の上若住は近々靜岡市へ鞍替せしむる事となし歸樓せしめたりと。(大正七、四、十、三遠日報掲載)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯餘錄

□文明は姙娠力を減退せしむるものであるといふ說は事實であつて、愈々我國にも其傾向が見えて來たやうである。東京市の統計課で調査した最近の報告に依ると、姙孕力が年々衰退し出生率の低下は實に意想外なものがあるといふ。大正四年の姙孕力は一一・〇一％であつたのに、翌けて五年は一〇・二一％に低下し、六年には一〇・〇四、になつたと當局者は非常に心痛して居らるゝやうである。世の識者も此の事實は疾うに認めて居らるゝ筈であると思はれる。けれどもこれだけの數字を示すとは、蓋し想ひ得なかつた處であらう。

□其の原因に就て或人は斯う解釋してゐる。「出產の多少は、常に民族文化の程度に反比例する傾向を帶びるものであつて、幷は謂ふ迄もなく社會組織の變遷と經濟事情より餘儀なくせらるゝ晩婚の弊が最大原由を爲して居る、加ふるに玆二三年間といふものは、歐州戰亂の影響を被つて諸物價が非常なる昇騰を來し、從來のやうな狀態では到底此の生活難の壓迫から逃れることが能ない。其處で婦人とても男子同樣に外部へ出て働かねばならなくなつて來たといふ事實が、姙孕力の衰退に大なる影響を及ぼしたものと思ふ」と。なるほど一應尤もである。けれども更に最う一步進んで熟考すれば、其原因が啻に經濟事情のみでないといふことが想像さはるであらうと思ふ。

□記者の考へでは經濟事情も其の一原因となつて居るには違ひないと思ふが、其他にも尙ほ主要なる原因を見逃して居るまいか。其れは他でもない、我が廓淸會が主張する處の賣笑問題である。此制度が如何に社會人類を毒害して居るかと云ふ事實は今更喋々するの要はないが、從來我國に於ける死亡及び乳兒死亡率の激增に就て見るも、公娼制度に起因する花柳病の蔓が、延びて姙孕力の衰退となるに至つたのではあるまいか

教へて此事實を識者の一考に供したい。

□常に同僚からハイカラだと云はれて異分子扱ひを受けて居た、橫濱市某小學校の女敎員が、一種の反感を懷いて藝妓にならうといふ考へから、關內の藝妓家兼待合新美濃へ押掛けて、採用の直接談判をやつたといふ事實ばなしがある。其言ふ處を傳聞するに「何うも女敎員では將來の見込がない許りか、金の世の中で何の彼のと切詰めた事ばかりを並べ立てゝ日を送るのは馬鹿々々しいから、多少なりとも文學趣味のあるのを幸ひ、此際文學藝妓といふ觸込みで出たなら、定めし評判になつてお客が多いだらうと思ふ。そして相當の餘裕に有り付きたい」といふ趣旨であつたさうナ。

□物質萬能の社會、其處には種々な物新らしい事件が生れて來るといふ事は、常に吾々の想像して居た處であるが、如何に世の變遷とは言へ神聖なる敎育者が、社會より醜業視せらるゝ藝者稼業を志願するに至つたといふ事は、其裏面に如何なる事情が在在してゐるにせよ實に言語同斷であると謂はねばならぬ。敎育界の紊亂といふことは屢々耳にしたが、斯くまで其の極度に達して居たとは想像し得なかつた。目下此事實が橫濱市敎育課の大問題となつてゐるといふ事であるが、我が東京市などでも對岸の火災視する事なく、十分留意す可きものだと思ふ。

□婦人體質が追年纖弱になつて來たといふ事實を知りながら、從來誰も之れが改善の途を採る者がなかつた然るに愛媛縣今治高等女學校では此方面に向つて新しき試みを爲す可く、新に庭球野球其の他の運動部を組織し每日放課後所定時間に其の練習を行はしめつゝあるといふことだが、其の成績はどうであらうか。外國婦人の運動も實に目醒ましいものがあるといふことだけれども野球をやるといふことは未だ耳にしないのに、これは又猛烈である。

□靜岡縣の某女學校でも左手に風呂敷つゝみを持つて通學するといふことは左の肩を偏頗的に發達せしむるといふ理由から、風呂敷包みを手に持つことを廢しなければならぬといふことを考へ、背囊を背負せることに定め、其上制帽をも作つた。

□クラシック文藝に對抗してローマンチックの文學が起り、又それに對抗してナチユラリズムが風靡する、さうかと思ふと又今度は、ニユーアイデアリズムが勃興するといふ風に、人間の思想といふものは隨分反抗的反動的に起るもので、女子の體育問題の如きも、極端に纖弱に流れる一方、野球をやらせたり、背囊を背負はせたりする程の、極端な敎育家が出來て來る、世の中は斯うして中庸を得、適當に發達して行くのである。此意味に於て前記の二學校の如きも、過渡時代の犧牲者と見るが至當であらう。

□本年度總會の日は締切迄にまだ確定に至らなかつたから、二十九日として置きましたが、在京の會員には通知狀を出しますけれども、地方會員にして出席希望者は二十日迄には決定の筈につき、變更してはお氣の毒故念の爲め御問合せを願います。

□最近靜岡地方に、本會の名義を利用して寄附金を募集する惡漢が出沒するさうであるが、殊に事情の暗い外人の間を立廻つてゐるといふことであるから、該地方の會員諸員は是非注意して頂きたい。多分曾田作といふ搜索中の片眼男でせう、本部は集金郵便以外に直接集金はしませぬ。

大正七年六月一日印刷（每月一回一日發行）
大正七年六月一日發行　一部　定價金十錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪所一番地　久保民生
印刷所　京橋區弓町十二番地　千代田印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓淸會發行所
電話本局四〇三五番
振替東京二七〇七二番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

◉御注文の際は必ず雑誌『廓清』に依る旨御申添を乞ふ◉

産婦人科。小兒科

女醫 **吉岡彌生**（鷲山改め）

△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七番

山室軍平氏著
社會廓清論
特價七十錢　郵税八錢

グレコリー氏著（邦譯）
歐洲諸國 **醜業**公認**制度廢止運動**
特價税共十錢

伊藤秀吉氏著
娼妓自由廢業案内
特價税共十二錢

酒きらひになるくすり

どんな酒煙草のみでもからだに少しも害なく心からきらいになるこさ妙郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論を進呈

禁酒丸
一週分一圓
二週分一圓九十錢
三週分二圓八十錢

禁煙液
五拾錢
壹圓
壹圓五拾錢

煙草きらひになる**藥**

本舖 大阪靭南通二丁目 **森田商店**
電話土佐堀三六〇番
振替大阪三三二三番

廣告主へ御用の際は必ず雜誌「東洋」によれる旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kanagawa, Sagami (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察每朝及每夕　但祭日及日曜之他

院長診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附內）

電話番町六二五一六

東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察每朝　但祭日及日曜及土曜之他

歯の為に一番良い
クラブ洗粉
クラブ歯磨
CLUB HAMIGAKI
クラブ歯磨
クラブ煉歯磨